

東大阪市子ども・子育て支援事業計画に関するアンケート調査 調査票【就学前児童のいる世帯用】

はじめから順番に回答をお願いいたします。

宛名のお子さんご家族の状況について

問 1 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。)

平成 年 月生まれ

問 2 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お 2 人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月月 平成 年 月生まれ

問 3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問 4 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問 5 宛名のお子さん同居している家族の形態は、どれにあたりますか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。父または母が単身赴任などの場合についても、同居と考えてください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 親と子 (2 世代) ⇒ 問 6 にお答えください。
2. 祖父母等の親族と親と子 (3 世代)
3. その他 () } ⇒ 問 7 へお進みください。

問 5 で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問 6 宛名のお子さんの祖父母の方たちとは近く (概ね 30 分程度に行き来できる範囲) に住んでいますか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族と近くに住んでいる 2. 祖父母等の親族と近くに住んでいない
3. その他 ()

問 7 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

問 8 宛名のお子さんの母親は、現在妊娠中ですか。

1. 妊娠中である 2. 妊娠中でない

子育て環境について

問9 宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 |
| 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. 幼稚園 | 6. 保育所 |
| 7. その他（ ） | |

問10 宛名のお子さんの子育てに影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 |
| 3. 幼稚園 | 4. 保育所 |
| 5. 認定こども園 | 6. その他（ ） |

問11 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問12にお答えください。 |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問13にお答えください。 |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒ 問14へお進みください。 | |

問11で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問12 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問11で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問13 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問14 子育てについて相談できる機関（市の施設）などを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問15 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. ある/いる ⇒ 問16にお答えください。 | 2. ない ⇒ 問17へお進みください。 |
|-------------------------|----------------------|

問15で「1」に○をつけた方にかがいます。

問16 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| <p>1. 配偶者・パートナー</p> <p>2. その他の親族（親、きょうだい等）</p> <p>3. 隣近所の人、知人、友人</p> <p>4. 職場の同僚</p> <p>5. 保育所、幼稚園、学校、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の保護者仲間</p> <p>6. 子育てサークル等の仲間</p> <p>7. 保育所の保育士、幼稚園・小学校の先生、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の指導者</p> <p>8. 医師、保健師、看護師、助産師、栄養士など</p> <p>9. 専門カウンセリング（臨床心理士等）</p> <p>10. 家庭児童相談室（福祉事務所に設置）</p> <p>11. 子育て支援センター・つどいの広場</p> <p>12. 母子自立支援員（福祉事務所に設置）</p> <p>13. コミュニティソーシャルワーカー（いきいきネット相談支援センター・福祉なんでも相談）</p> <p>14. ファミリー・サポート・センター</p> <p>15. 自治会役員</p> <p>16. 民生委員・児童委員、主任児童委員</p> <p>17. 教育センター</p> <p>18. 保健所・保健センター</p> <p>19. 子ども家庭センター</p> <p>20. 子育て支援相談ダイヤル</p> <p>21. スマイルサポーター</p> <p>22. 療育センター</p> <p>23. ベビーシッター</p> <p>24. 自ら育児書・育児雑誌・インターネット等で調べる</p> <p>25. その他（</p> | ） |
|---|---|

※スマイルサポーターとは大阪府が認定し、地域の子育て家庭、高齢者や障害者等の相談活動等子育て支援の充実や地域の関係機関との連携強化を図る相談員のことです。

問17 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

保護者の就労状況について

問18 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親・父親それぞれについてお答えください。

	父親（保護者） ※母子家庭の場合は、記載不要です。	母親（保護者） ※父子家庭の場合は、記載不要です。
(1) 就労状況をお答えください。	1. フルタイムで就労している（育休・介護休業中含む） 2. パート・アルバイト等で就労している（育休・介護休業中含む） 3. 現在、求職中である 4. 就労していない } ⇒ (6) へ	1. フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中含む） 2. パート・アルバイト等で就労している（産休・育休・介護休業中含む） 3. 現在、求職中である 4. 就労していない } ⇒ (6) へ
(1)で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。 (2) 育休等の状況をお答えください。	1. 育休・介護休業中である 2. 育休・介護休業中ではない	1. 産休・育休・介護休業中である 2. 産休・育休・介護休業中ではない
(3) 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。	1 週当たり <input type="text"/> 日 1 日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	1 週当たり <input type="text"/> 日 1 日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。		
(4) 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。⇒フルタイムの方は回答後に問19へ	家を出る <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 帰宅 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	家を出る <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 帰宅 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は18時30分のように、24時間制でお答えください。		
(1)で「2. パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。 (5) フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。⇒回答後は問19へ	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
(1)で「3」または「4」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。 (6) 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけ、該当する枠内には数字をご記入ください。	1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） } ⇒ 問19へ 2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったころに就労したい } 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい ⇒ (7) へ	1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） } ⇒ 問19へ 2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったころに就労したい } 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい ⇒ (7) へ
(6)で「3」に○をつけた方にうかがいます。 (7) 希望する就労形態をお答えください。	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） ⇒ 問19へ 2. パートタイム、アルバイト等 ⇒ (8) へ	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） ⇒ 問19へ 2. パートタイム、アルバイト等 ⇒ (8) へ
(7)で「2」に○をつけた方にうかがいます。 (8) 希望する就労日数・時間をお答えください。	1 週当たり <input type="text"/> 日 1 日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	1 週当たり <input type="text"/> 日 1 日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分

問24 平日に「定期的な教育・保育事業」を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. お子さんの身の回りの世話をしている方が現在就労しているため
3. お子さんの身の回りの世話をしている方が就労予定がある／求職中であるため
4. お子さんの身の回りの世話をしている方が家族・親族などを介護しているため
5. お子さんの身の回りの世話をしている方が病気や障害があるため
6. お子さんの身の回りの世話をしている方が学生であるため
7. その他 ()

問25 現在、利用されている教育・保育事業について、不満に思っていることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用できる時間
2. 利用料金
3. 利用できる曜日
4. 施設までの距離
5. 施設の方針、内容
6. 施設の雰囲気
7. 先生の指導力
8. 給食
9. 子どもが病気になった時の対応
10. 保護者が急用の時の対応
11. 先生の配置人数
12. 施設からの情報提供
13. 先生とのコミュニケーションの方法
14. 親どうしのコミュニケーションの機会の提供
15. 親子で参加できる行事の開催
16. 入所（園）手続き
17. 入所（園）時期
18. 施設、設備
19. その他 ()

⇒ 問27 へお進みください。

問19で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問26 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため (歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 ()

問 27 現在、利用していても、していなくても、今後、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
 ※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
5. 家庭的保育（保育ママ：保育者の家庭等で5人以下の子どもを預かる事業）
6. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
7. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、各自治体が独自で基準を定めその基準を満たしたと自治体が認証・認定した施設）
8. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せもつ施設）
9. 認可外の保育施設
10. ベビーシッター（保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. その他（
13. 利用希望はない ⇒ 問30へお進みください。）

⇒ 問28にお答えください。

問 28 平日に定期的に利用したい教育・保育の事業について、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（一枠内に数字は一字）。時間は、必ず「9時00分」や「18時30分」のように24時間制でご記入ください。

	1週当たり 日数	1日当たり時間	利用開始時間	利用終了時間
希望	日	時間 分	時 分	時 分

問 29 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。

1. 東大阪市内
2. 他の市区町村

地域の子育て支援拠点事業について

※ここでいう「子育て支援拠点事業」とは、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」「つどいの広場」等と呼ばれています。

問 30 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（一枠内に数字は一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業（園庭開放、親子教室等）
 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度
3. 利用していない

問31 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。

1. 利用していないが、今後利用したい

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回 程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問32 地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。もっとも利用したい上位3つに○をつけてください。

※なお、事業の内容によっては、一定の利用者負担が発生する場合があります。

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1. 常設の子育て親子の交流の場の提供 | 2. 子育てに関する相談・援助 |
| 3. 地域の子育て関連情報の提供 | 4. 子育てに関する講習 |
| 5. 地域に出向いての交流の場の提供（出張ひろば） | 6. 保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談 |
| 7. さまざまな世代との交流の場の提供 | 8. 家庭への訪問支援 |
| 9. 一時預かり | 10. 病児・病後児保育事業 |
| 11. その他（ <input type="text"/> ） | |

問33 子育て支援サービスの情報は、入手しやすいと感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 入手しやすい 2. 入手しにくい 3. どちらともいえない

定期的な教育・保育事業の利用について（土曜・休日、長期休暇中）

※教育・保育事業とは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

問34 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「8時30分」や「17時00分」のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯
時 分から 時 分まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯
時 分から 時 分まで

問34の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方は問35へお進みください。それ以外(問34の(1)と(2)で「1」か「2」にのみ○)の方で幼稚園に通われている方は問36へ、保育所等に通われている方は問38へ、現在、幼稚園や保育所などに通われていない方は問45へお進みください。

問34の(1)もしくは(2)で、「3.月に1~2回は利用したい」に○をつけた方うかがいます。

問35 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

「幼稚園」を利用されている方うかがいます。「幼稚園」を利用されていない方は問38へお進みください。

問36 幼稚園に通われている宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時00分」や「17時00分」のように24時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
 3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- 利用したい時間帯
- 時□□分から□□時□□分まで

問36で、「3.休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方うかがいます。「1」「2」に○をつけた方は問38へお進みください。

問37 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問19で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問45にお進みください。

問38 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問39にお答えください。
2. なかった ⇒ 問45へお進みください。

問38で「1. あった」に○をつけた方うかがいます。

問39 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に行った対処方法として、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もわかる範囲で□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

1. 父親が休んだ				日
2. 母親が休んだ				日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった				日
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた				日
5. 病児・病後児の保育を利用した				日
6. ベビーシッターを頼んだ				日
7. ファミリー・サポート・センターにお願いした				日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた				日
9. その他 ()				日

問39で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。「1」「2」に○をつけていない方は問43へお進みください。

問40 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等に預けたい (日) ⇒ 問41にお答えください。
2. 預けたいとは思わない ⇒ 問42へお進みください。

問40で「1. できれば病児・病後児保育施設等に預けたい」に○をつけた方にうかがいます。

問41 病児・病後児保育施設等に子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを預かる事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを預かる事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（）

⇒ 問39で「3」から「9」のいずれかに○をつけた方は問43へお進みください。それ以外の方は問45へお進みください。

問40で「2. 預けたいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問42 預けたいと思わない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応できるので問題ない
7. その他（）
8. 特に理由はない

⇒ 問39で「3」から「9」のいずれかに○をつけた方は問43へお進みください。それ以外の方は問45へお進みください。

問39で「3」から「9」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問43 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで子どもをみたい⇒ 日 ⇒ 問45へお進みください。
2. 休んで子どもをみることは非常に難しい ⇒ 問44にお答えください。

問43で「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問44 休んで子どもをみるのが難しい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（）

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等について

問45 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に冠婚葬祭、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

1. 一時預かり (保育所などで一時的に子どもを預かる事業)			日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)			日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)			日
4. ベビーシッター			日
5. その他 ()			日
6. 利用していない ⇒ 問46にお答えください。			

⇒ 問47へ
お進みください。

問45で「6. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。「6」に○をつけていない方は問47へお進みください。

問46 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他 ()

問47 宛名のお子さんに関して、冠婚葬祭、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい、不定期の一時預かり事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（目的別の日数を口内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい			
ア 買物、習い事、リフレッシュ目的			日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院			日
ウ 不定期の就労			日
エ その他 ()			日
2. 利用する必要はない ⇒ 問49へお進みください。			

⇒ 問48に
お答えください。

問47で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問48 問47の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを預かる事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを預かる事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問49 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

1. あった				
ア	(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった		泊	⇒ 問50に お答えください。
イ	子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）		泊	⇒ 問51へ お進みください。
ウ	イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した		泊	
エ	仕方なく子どもを同行させた		泊	
オ	仕方なく子どもだけで留守番をさせた		泊	
カ	その他（ ）		泊	
2. なかった ⇒ 問51へお進みください。				

問49で「1. あった」の「ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

問50 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかという困難
3. 特に困難ではない

小学校就学後の希望等について

問51 宛名のお子さんについて、小学校就学後の放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）の時期、小学校高学年（4～6年生）それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず「18時00分」のように24時間制でご記入ください。

小学校低学年（1～3年生）の時期の希望	小学校高学年（4～6年生）の時期の希望
1. 自宅で家族と過ごす 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい	1. 自宅で家族と過ごす 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい
2. 自宅で留守番をする 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい	2. 自宅で留守番をする 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい
3. 祖父母宅や友人・知人宅 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい	3. 祖父母宅や友人・知人宅 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい
4. 習い事 (ピアノ教室、スイミング、学習塾など) 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい	4. 習い事 (ピアノ教室、スイミング、学習塾など) 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい
5. 留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ） 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい 下校時から <input style="width: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 20px;" type="text"/> 分まで	5. 留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ） 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい 下校時から <input style="width: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 20px;" type="text"/> 分まで
6. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業) 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい	6. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業) 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい
7. その他 () 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい	7. その他 () 週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい

※「留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。現在、東大阪市では1年生～3年生の利用となっています。

問51で「5. 留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）」に○をつけた方にうかがいます。「5」に○をつけていない方は問53へお進みください。

問52 小学校就学後の土曜日、日曜日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に宛名のお子さんの留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の利用希望はあると思いますか。それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、枠内に24時間制でご記入ください。

		土曜日	日曜日	長期休暇期間
利用希望		1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない 4. わからない	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない 4. わからない	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない 4. わからない
利用したい	開始	<input style="width: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 20px;" type="text"/> 分	<input style="width: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 20px;" type="text"/> 分	<input style="width: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 20px;" type="text"/> 分
時間帯	終了	<input style="width: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 20px;" type="text"/> 分	<input style="width: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 20px;" type="text"/> 分	<input style="width: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 20px;" type="text"/> 分

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問53 宛名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職（仕事を辞める）をしましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 離職した ⇒ 問54にお答えください。
 - 2. 継続的に働いていた（転職も含む）
 - 3. 出産1年前にすでに働いていなかった
- } ⇒ 問55へお進みください。

問53で「1. 離職した」に○をつけた方にうかがいます。

問54 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスなどの環境が整っていたら、就労を継続しましたか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近い答えの番号1つに○をつけてください。

- 1. 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
- 2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働きやすい環境が整っていれば、継続して就労していた
- 3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
- 4. 働くことに家族や親族の理解が得られれば、継続的に就労していた
- 5. 配偶者の育児・家事への協力が得られれば、継続的に就労していた
- 6. 制度や環境に関係なく、自発的にやめた
- 7. その他（ ）

問55 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

理由	母親	父親
A. 働いていなかった	1 ⇒ 問65へお進みください。	1
B. 取得した（取得中）	2 ⇒ 問57へお進みください。 日	2 日
C. 取得していない	3	3 ⇒ 問56にお答えください。

問55で「3. 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

問56 育児休業を取得していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

理由	母親	父親
A. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
B. 仕事が忙しかった	2	2
C. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	3	3
D. 仕事に戻るのが難しそうだった	4	3
E. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5	4
F. 収入減となり、経済的に苦しくなりそうだった	6	5
G. 保育所などに預けることができた	7	6
H. 配偶者が育児休業制度を利用した	8	7
I. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9	8
J. 子育てや家事に専念するため退職した	10	9
K. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	11	10
L. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	11
M. 育児休業を取得できることを知らなかった	13	12
N. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らずに退職した	14	13
O. その他（ ）	15	13

⇒ 問65へお進みください。

問55で母親が「2. 取得した(取得中)」に○をつけた方にうかがいます。

問57 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | ⇒ 問58にお答えください。 |
| 2. 現在も育児休業中である | ⇒ 問64へお進みください。 |
| 3. 育児休業中に離職した | ⇒ 問65へお進みください。 |

問57で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問58 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問59 育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 育児休業期間を調整せずにできた | 2. 育児休業期間を変更したのでできた |
| 3. できなかった | 4. 希望しなかった |

問60 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。口内に数字でご記入ください。

実際 歳 ヶ月 希望 歳 ヶ月

問60で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。実際と希望が同じ方は問62へお進みください。

問61 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてる人がいなかったため
6. その他 ()

問62 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
| ⇒ 問65へお進みください。 | ⇒ 問63にお答えください。 |

問 62 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問 63 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなった
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がった
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

⇒ 問 65 へお進みください。

問 57 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問 64 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

子どもや子育てについて

問 65 希望として、子どもが何人ほしいですか。

人

問 66 現在の家庭・教育環境等においても、もう一人以上子どもを生き育てたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 生き育てたいと思う ⇒ 問 68 へお進みください。
2. 生き育てたいとは思わない ⇒ 問 67 にお答えください。

問 66 で「2」に○をつけた方にうかがいます。

問 67 どのような環境を整えればもう一人以上子どもを生き育てたいと思いますか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 子どもを預けることができれば生きたい
2. 収入が増えれば生きたい
3. 働くところが見つかれば生きたい
4. 子どもを教育してくれる施設が充実していれば生きたい
5. 家族の理解が進めば生きたい
6. その他（)

問68 子育てについて、次のようなことを感じることはありますか。それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

	よくある	ときどきある	あまりない	全くない
A. 子どもがかわいくてたまらない	1	2	3	4
B. 子育てによって自分も成長していると感じる	1	2	3	4
C. 自分の子育てがこれでよいのか自信がなくなる	1	2	3	4
D. 子どもがわずらわしくなる	1	2	3	4
E. 子どもを育てるために自分だけが我慢ばかりしていると思う	1	2	3	4
F. 子どもが自分の言うことを聞かないのでいらいらする	1	2	3	4

問69 子育てについてのライフスタイルの希望

(1) 何歳ぐらいから預けたいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 産後すぐに保育所に預けたい
2. 育児休業明けなどにあたる1歳ぐらいから保育所に預けたい
3. 3歳ぐらいから保育所や幼稚園に預けたい
4. 4歳ぐらいから保育所や幼稚園に預けたい
5. 保育所や幼稚園を利用する予定はない

(2) 母親の仕事と子育てに関する理想について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 仕事をせずに子育てに専念した方がよい
2. 子育てに専念するのに負担のない程度の仕事をした方がよい
3. 仕事と子育てを両立した方がよい

※父子家庭の場合は、記載不要です。

問70 子育てに関して、現在、不安を感じていますか。あるいは、過去に感じたことがありますか。現在と過去についてそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	非常に不安を感じる (感じた)	何となく不安を感じる (感じた)	あまり不安など感じない (感じなかった)	全く感じない (感じなかった)	なんともいえない (わからない)
過去	1	2	3	4	5
現在	1	2	3	4	5

問71 自分にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることの方が多い
4. わからない
5. その他 ()

問72 日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

1. 病気や発育発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児のことがよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと
6. 子どもの教育に関すること
7. 子どもの友達づきあいに関すること
8. 子どもの登所登園拒否や不登校など
9. 特にない
10. その他 ()

(2) あなたに関すること

1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを親族、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4. 自分の子育てについて親族、近隣の人、職場など周りの見目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10. 子育てにかかる出費がかさむこと
11. 住居が狭いこと
12. 特にない
13. その他 ()

問73 自分の子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 思う
2. ときどき思う
3. 思わない
4. なんともいえない

仕事と子育てについて

問74 家事（買い物も含む）、育児、介護・看護について、1日平均どのぐらい参画していますか。「1. している」に○をつけた方は、具体的な時間をご記入ください。また、分については15分刻み（15分・30分・45分）でご記入ください。（父親（保護者）・母親（保護者）についてそれぞれご記入ください。）

父親（保護者） ※母子家庭の場合は、記載不要です。		母親（保護者） ※父子家庭の場合は、記載不要です。	
【平日について】 ① 家事（買い物も含む） 1. している 1日平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分くらい 2. していない ② 育児 1. している 1日平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分くらい 2. していない ③ 介護・看護 1. している 1日平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分くらい 2. していない		【平日について】 ① 家事（買い物も含む） 1. している 1日平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分くらい 2. していない ② 育児 1. している 1日平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分くらい 2. していない ③ 介護・看護 1. している 1日平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分くらい 2. していない	
【休日について】 ① 家事（買い物も含む） 1. している 1日平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分くらい 2. していない ② 育児 1. している 1日平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分くらい 2. していない ③ 介護・看護 1. している 1日平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分くらい 2. していない		【休日について】 ① 家事（買い物も含む） 1. している 1日平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分くらい 2. していない ② 育児 1. している 1日平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分くらい 2. していない ③ 介護・看護 1. している 1日平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分くらい 2. していない	

問75 あなたの家庭での生活の中で、「仕事」と「家庭生活（家事等も含む）」、「プライベート」に対する時間の優先度についてうかがいます。父親、母親それぞれについて「希望」と「現実」にもっとも近い答えの項目1つずつに○をつけてください。

		「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「プライベート」を優先	「仕事」と「家庭生活」を共に優先	「家庭生活」と「プライベート」を共に優先	「仕事」と「家庭生活」と「プライベート」を共に優先
父親	希望	1	2	3	4	5	6
	現実	1	2	3	4	5	6
母親	希望	1	2	3	4	5	6
	現実	1	2	3	4	5	6

※父親について母子家庭の場合は記載不要です。※母親について父子家庭の場合は記載不要です。

問76 配偶者との家事、育児分担に満足していますか。父親、母親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

	満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	不満だ	わからない
父親	1	2	3	4	5
母親	1	2	3	4	5

※父親について母子家庭の場合は記載不要です。

※母親について父子家庭の場合は記載不要です。

妊婦健診等について

問77 今ふりかえって、妊娠・出産に関して、不安を感じていたと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に不安を感じた
2. 何となく不安を感じた
3. あまり不安など感じなかった
4. 全く感じなかった
5. なんともいえない (わからない)

問78 今ふりかえって、妊娠・出産前後に必要な情報を得られていたと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 得られていた
2. 得られていなかった
3. わからない

問79 妊娠した際の市のサービスを知っていますか。それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

サービス名	利用した	知っているが利用していない	知らない
A. 保健センターの保健師などによる健康相談	1	2	3
B. 保健センターのマタニティ教室、両親学級	1	2	3
C. 妊婦健康診査費用の助成 (受診券の配布)	1	2	3

↓
問80 にお答えいただいてから

問81 へお進みください。

↓
問81 へお進みください。

※東大阪市に居住している妊婦の方は、母子健康手帳の別冊の「妊婦健康診査受診券」を使用し健康診査費用の助成を14回受けることができます。

問79のCで妊婦健康診査受診券を「1. 利用した」に○を付けた方にうかがいます。

問80 サービスに満足しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 満足した
2. まあまあ満足した
3. あまり満足していない
4. 不満だ
5. わからない

問81 今ふりかえて、妊娠や出産について困ったことはありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 妊婦同士の交流の場が身近にないこと
2. 妊娠・出産についての情報や知識が入手しにくいこと
3. 妊娠・出産についての相談相手が身近にいないこと
4. 上の子どもを見てくれる人がいないこと
5. 家事・育児の協力者がいないこと
6. 医療機関の情報が入手しにくいこと
7. 健診費用の負担が大きいこと
8. 特にない
9. その他 ()

地域の助け合いによる子育てについて

問82 子育てサークルなど自主的な活動に参加していますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 現在参加している
2. 現在参加していないが、今後機会があれば参加したい
3. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない

問83 子育てサークルや地域の子育て支援に貢献していますか。または、今後、貢献してみたいと思っていますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 現在貢献している
2. 現在貢献していないが、今後機会があれば貢献したい
3. 現在は貢献しておらず、今後も貢献しないと思う

問84 近所づきあいをどの程度されていますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 困っているときは、相談したり助け合ったりする人がいる
2. 買い物や地域の行事などに一緒に行ったりする気の合う人がいる
3. たまに立ち話をするくらいの人がある
4. 道で会えばあいさつするくらいの人がある
5. 近所づきあいはほとんどしていない
6. その他 ()

問85 子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられていると感じますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 感じる
2. 感じない

子どもとの外出について

問86 お子さんと外出する際、困ること・困ったことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多く、安全に心配があること
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっていること
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備がないこと
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ないこと
7. 買い物や用事等の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
8. 緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりとうるおいがないこと
9. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害に遭うのではないかと心配なこと
10. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見ること
11. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと
12. その他（)
13. 特に困ること・困ったことはない

問87 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 満足している
2. 満足していない
3. 普通

問88 地域の子どもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 近くに遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない
10. 公園など遊び場のトイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
11. 遊び場周辺の道路が危険である
12. 不審者などがいて子どもに危険が及ばないかが心配である
13. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
14. その他（)
15. 特に感じることはない

施策全般について

問89 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）
2. 保育サービスの充実
3. 子育て支援のネットワークづくり
4. 地域における子どもの活動拠点の充実
5. 訪問型の支援サービスの充実
6. 健やかな妊娠・出産に対する支援
7. 子どもの教育環境の充実
8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11. 虐待等を受けた社会的養護を要する子どもに対する支援
12. その他（)

問90 行政（東大阪市、府、国）に対して、どのような子育て支援策の充実を図ってほしいと期待しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育所・幼稚園の園庭開放を充実する
3. 親子が安心して集まれる集いの場等の屋内の施設を整備する
4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識・技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 保育所、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）等の働きながら子どもを預ける施設を増やす
10. 幼稚園の保育サービスを充実する
11. 専業主婦・主夫など誰でも気軽に利用できるNPOや民営等による保育サービスの支援を行う
12. 安心して子どもが医療機関（小児医療など）を利用できる体制を整備する
13. 子どもの安全を確保する対策を充実する
14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15. 子育て世帯への経済的援助の拡充する（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）
16. 公営住宅の優先入居・広い部屋の割り当て等、住宅面での配慮・支援に取り組む
17. その他（)
18. 特になし

問91 最後に、教育・保育環境の充実など子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/>

これで調査は終わりです。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

10月16日（水）までに同封の返信用封筒に入れてご投函ください。よろしくお願いいたします。

東大阪市子ども・子育て支援事業計画に関するアンケート調査 調査票【小学生のいる世帯用】

はじめから順番に回答をお願いいたします。

宛名のお子さんご家族の状況について

問1 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。)

平成 年 月生まれ

問2 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月月 平成 年 月生まれ

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問4 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問5 宛名のお子さん同居している家族の形態は、どれにあたりますか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。父または母が単身赴任などの場合についても、同居と考えてください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 親と子(2世代) ⇒ 問6にお答えください。
-
2. 祖父母等の親族と親と子(3世代)
-
3. その他 () } ⇒ 問7へお進みください。

問5で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問6 宛名のお子さんの祖父母の方たちとは近く(概ね30分程度に行き来できる範囲)に住んでいますか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族と近くに住んでいる 2. 祖父母等の親族と近くに住んでいない
-
3. その他 ()

問7 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

問8 宛名のお子さんの母親は、現在妊娠中ですか。

1. 妊娠中である 2. 妊娠中でない

子育て環境について

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問10にお答えください。 |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問11にお答えください。 |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒ 問12へお進みください。 | |

問9で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問10 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問9で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問11 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問12 子育てについて相談できる機関（市の施設）などを知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

問13 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある/いる ⇒ 問14にお答えください。 2. ない ⇒ 問15へお進みください。

問13で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問14 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー
2. その他の親族（親、きょうだい等）
3. 隣近所の人、知人、友人
4. 職場の同僚
5. 保育所、幼稚園、学校、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の保護者仲間
6. 子育てサークル等の仲間
7. 保育所の保育士、幼稚園・小学校の先生、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の指導者
8. 医師、保健師、看護師、助産師、栄養士など
9. 専門カウンセリング（臨床心理士等）
10. 家庭児童相談室（福祉事務所に設置）
11. 子育て支援センター・つどいの広場
12. 母子自立支援員（福祉事務所に設置）
13. コミュニティソーシャルワーカー（いきいきネット相談支援センター・福祉なんでも相談）
14. ファミリー・サポート・センター
15. 自治会役員
16. 民生委員・児童委員、主任児童委員
17. 教育センター
18. 保健所・保健センター
19. 子ども家庭センター
20. 子育て支援相談ダイヤル
21. スマイルサポーター
22. 療育センター
23. ベビーシッター
24. 自ら育児書・育児雑誌・インターネット等で調べる
25. スクールソーシャルワーカー
26. スクールカウンセラー
27. その他（ ）

※スマイルサポーターとは大阪府が認定し、地域の子育て家庭、高齢者や障害者等の相談活動等子育て支援の充実や地域の関係機関との連携強化を図る相談員のことです。

問15 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

保護者の就労状況について

問16 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親・父親それぞれについてお答えください。

	父親（保護者） ※母子家庭の場合は記載不要です。	母親（保護者） ※父子家庭の場合は記載不要です。
(1) 就労状況をお答えください。	1. フルタイムで就労している（育休・介護休業中含む） 2. パート・アルバイト等で就労している（育休・介護休業中含む） 3. 現在、求職中である } ⇒ (6) へ 4. 就労していない }	1. フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中含む） 2. パート・アルバイト等で就労している（産休・育休・介護休業中含む） 3. 現在、求職中である } ⇒ (6) へ 4. 就労していない }
(1)で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。 (2) 育休等の状況をお答えください。	1. 育休・介護休業中である 2. 育休・介護休業中ではない	1. 産休・育休・介護休業中である 2. 産休・育休・介護休業中ではない
(3) 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。	1 週当たり <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 日 1 日当たり <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 分	1 週当たり <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 日 1 日当たり <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 分
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。		
(4) 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。⇒フルタイムの方は回答後に問17へ	家を出る <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 分 帰宅 <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 分	家を出る <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 分 帰宅 <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 分
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は18時30分のように、24時間制でお答えください。		
(1)で「2. パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。 (5) フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。⇒回答後は問17へ	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
(1)で「3」または「4」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。 (6) 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけ、該当する枠内には数字をご記入ください。	1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） } ⇒ 問17 へ 2. 1年より先、一番下の子どもが <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 歳になったころに就労したい } 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒ (7) へ	1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） } ⇒ 問17 へ 2. 1年より先、一番下の子どもが <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 歳になったころに就労したい } 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒ (7) へ
(6)で「3」に○をつけた方にうかがいます。 (7) 希望する就労形態をお答えください。	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） ⇒ 問17 へ 2. パートタイム、アルバイト等 ⇒ (8) へ	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） ⇒ 問17 へ 2. パートタイム、アルバイト等 ⇒ (8) へ
(7)で「2」に○をつけた方にうかがいます。 (8) 希望する就労日数・時間をお答えください。	1 週当たり <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 日 1 日当たり <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 分	1 週当たり <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 日 1 日当たり <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; text-align: center;" type="text"/> 分

問19で「2. 預けたいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問21 預けたいと思わない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に預けるのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応できるので問題ない
7. その他（)
8. 特に理由はない

⇒ 問18で「3」から「9」のいずれかに○をつけた方は問22へお進みください。それ以外の方で低学年の方は問24へ、高学年の方は問39へお進みください。

問18で「3」から「9」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問22 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで子どもをみたい⇒

--	--

 日 ⇒ 低学年の方は問24へお進みください。
⇒ 高学年の方は問39へお進みください。
2. 休んで子どもをみることは非常に難しい ⇒ 問23にお答えください。

問22で「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問23 休んで子どもをみるのが難しい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（)

ここからは宛名のお子さんが小学校低学年（1年生～3年生）の方にかがいます。

宛名のお子さんが小学校高学年（4年生～6年生）の方は問39へお進みください。

留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）等の利用について

※「留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。現在、東大阪市では1年生～3年生の利用となっています。

問24 宛名のお子さんについて、現在、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒問25にお答えください。 2. 利用していない ⇒問34へお進みください。

問24で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

問25 現在、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の利用日数等はどのくらいですか。また平日の利用でのご希望はありますか。

(1) 平日（学校の授業日）

- a 利用している日数は（どちらかに○）
1. 週4日以上利用している 2. 週1日～3日利用している
- b 利用している時間帯は（24時間制で記入）
下校時から 時 分まで
- c 希望日数は（日数を記入）
週 日くらい利用したい
- d 現在、利用している時間より延長したいですか（どちらかに○）（24時間制で記入）
1. 延長したい
下校時から 時 分まで利用したい
2. 延長しなくてよい
- e 何年生まで利用したいですか（どちらかに○）
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（年生）まで利用したい

(2) 平日（夏休みなど長期休業中）

- a 利用している日数は（どちらかに○）
1. 週4日以上利用している 2. 週1日～3日利用している
- b 利用している時間帯は（24時間制で記入）
時 分から 時 分まで
- c 希望日数は（日数を記入）
週 日くらい利用したい
- d 利用したい時間帯は（24時間制で記入）
時 分から 時 分まで 利用したい
- e 何年生まで利用したいですか（どちらかに○）
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（年生）まで利用したい

問26 現在、土曜日の留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の利用日数等はどのくらいですか。

- 1. ほぼ毎週利用している
 - 2. 月に1日～3日利用している
 - 3. 利用していない
- ⇒ 問28へお進みください。
⇒ 問27にお答えください。

問26で「3. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。それ以外の方は問28へお進みください。

問27 利用していない理由について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 土曜日は子どもの世話をする者がいる
- 2. 開所していないから
- 3. その他（ ）

問28 土曜日に留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）を何日利用したいですか。現在、利用している日数を含めて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. ほぼ毎週利用したい
- 2. 月に1日～3日利用したい
- 3. 利用する必要はない

問29にお答えください。

問30へお進みください。

問28で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問29 利用希望時間帯と学年についてお尋ねします。

a 利用したい時間帯は（24時間制で記入）

□□時 □□分から □□時 □□分まで 利用したい

b 何年生まで利用したいですか（どちらかに○）

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい

問30 日曜日に留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）を何日利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. ほぼ毎週利用したい
- 2. 月に1日～3日利用したい
- 3. 利用する必要はない

問31にお答えください。

問32へお進みください。

問30で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問31 利用希望時間帯と学年についてお尋ねします。

a 利用したい時間帯は（24時間制で記入）

□□時 □□分から □□時 □□分まで 利用したい

b 何年生まで利用したいですか（どちらかに○）

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい

問32 現在通っている留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）に対してどのように感じられていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日曜日・祝日も開いてほしい
2. 施設・設備を改善してほしい
3. 指導内容を工夫してほしい
4. 長期休業中・土曜日等の開所時間を早くしてほしい
5. 現在のままでよい
6. その他（ ）

問33 現在通っている留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の利用料金（月額5,000円）についてどのように感じられていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「1. 高い」あるいは「2. 安い」に○をつけた方は、どのような金額が妥当であると考えられるか、具体的な利用料金をご記入ください。

1. 高い → 妥当だと考えられる利用料金は（ ）円
2. 安い → 妥当だと考えられる利用料金は（ ）円
3. ちょうどよい
4. その他（ ）

⇒ 問40へお進みください。

問24で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問34 留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）を利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父親または母親のうち就労していない方が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない
2. 回答者ご自身や配偶者の親、親戚がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 父母とも働いていて利用したいが、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）を知らないから
5. 父母とも働いていて利用したいが、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）に空きがない
6. 父母とも働いていて利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
7. 父母とも働いていて利用したいが、利用料がかかるため、経済的な理由で利用できない
8. 障害児対応ができていないから
9. 父母とも働いているが、子どもは放課後に習い事をしているため、利用する必要がない
10. 父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから
11. 父母ともに働いてるが、他の施設に預けているから
12. その他（ ）

問35 留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）を利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 2. 学年に関係なく、小学生の間は利用したい
 3. 今後も利用しない ⇒ 問40へお進みください。
- } ⇒ 問36にお答えください。

問35で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問36 平日に留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）をどれくらい利用したいですか。

a 希望日数は（日数を記入）

週 日くらい利用したい

b 利用したい時間帯は（24時間制で記入）

下校時から 時 分まで 利用したい

問37 利用したい理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. そのうち就労したいと考えている
4. 家族・親族などを介護しなければならない
5. 病気や障害をもっている
6. 学生である／就学したい
7. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
8. その他（ ）

問38 土曜日、日曜日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に宛名のお子さんの留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の利用希望はありますか。それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、枠内に24時間制でご記入ください。

	土曜日	日曜日	長期休暇期間
利用希望	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない
利用したい時間帯	開始 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 終了 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	開始 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 終了 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	開始 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 終了 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分

⇒ 問40へお進みください。

宛名のお子さんが小学校高学年（4年生～6年生）の方にかがいます。

問39 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。現在のご希望について、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず18時00分のように24時間制でご記入ください。

希望	
1. 自宅で家族と過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 自宅で留守番をする	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 習い事 (ピアノ教室、スイミング、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ） <input type="text"/> 年生くらいまで 週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで	
6. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	週 <input type="text"/> 日くらい
7. その他	週 <input type="text"/> 日くらい

※「留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。現在、東大阪市では1年生～3年生の利用となっています。

不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かりについて

問40 宛名のお子さんについて、親の通院、不定期の就労等の目的で、家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

1. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)			日
2. ベビーシッター			日
3. その他 ()			日
4. 上記のようなものを利用していない			

問41 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りかけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

1. あった				
	ア (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった			泊
	イ 子育て短期支援事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)			泊
	ウ イ以外の保育事業(ベビーシッター等)を利用した			泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた			泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた			泊
	カ その他()			泊
2. なかった	⇒ 問43へお進みください。			

⇒ 問42にお答えください。

⇒ 問43へお進みください。

問41で「1. あった」の「ア(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

問42 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難
 2. どちらかというと困難
 3. 特に困難ではない

子どもや子育てについて

問43 希望として子どもが何人ほしいですか。

人

問44 現在の家庭・教育環境等においても、もう一人以上子どもを生ま育てたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 生ま育てたいと思う ⇒ 問46へお進みください。
2. 生ま育てたいとは思わない ⇒ 問45にお答えください。

問44で「2」に○をつけた方にかがいます。

問45 どのような環境を整えればもう一人以上子どもを生ま育てたいと思いますか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 子どもを預けることができれば生きたい
2. 収入が増えれば生きたい
3. 働くところが見つかるば生きたい
4. 子どもを教育してくれる施設が充実していれば生きたい
5. 家族の理解が進めば生きたい
6. その他 ()

問46 子育てについて、次のようなことを感じる場合がありますか。それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

	よくある	ときどきある	あまりない	全くない
A. 子どもがかわいくてたまらない	1	2	3	4
B. 子育てによって自分も成長していると感じる	1	2	3	4
C. 自分の子育てがこれでよいのか自信がなくなる	1	2	3	4
D. 子どもがわずらわしくなる	1	2	3	4
E. 子どもを育てるために自分だけが我慢ばかりしていると思う	1	2	3	4
F. 子どもが自分の言うことを聞かないのでいらいらする	1	2	3	4

問47 子育てについてのライフスタイルの希望

(1) 今ふりかえて、何歳ぐらいから子どもを預けたかったですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 産後すぐに保育所に預けたかった
2. 育児休業明けなどにあたる1歳ぐらいから保育所に預けたかった
3. 3歳ぐらいから保育所や幼稚園に預けたかった
4. 4歳ぐらいから保育所や幼稚園に預けたかった
5. 保育所や幼稚園を利用する予定はなかった

(2) 母親の仕事と子育てに関する理想について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 仕事をせずに子育てに専念した方がよい
2. 子育てに専念するのに負担のない程度の仕事をした方がよい
3. 仕事と子育てを両立した方がよい

※父子家庭の場合は、記載不要です。

問48 子育てに関して、現在、不安を感じていますか。あるいは、過去に感じたことがありますか。現在と過去についてそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	非常に不安を感じる (感じた)	何となく不安を感じる (感じた)	あまり不安など感じない (感じなかった)	全く感じない (感じなかった)	なんともいえない (わからない)
過去	1	2	3	4	5
現在	1	2	3	4	5

問49 自分にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることの方が多い
4. わからない
5. その他 ()

問50 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 留守家庭児童育成クラブ (放課後児童クラブ) の充実
2. 子育て支援のネットワークづくり
3. 地域における子どもの活動拠点の充実 (児童館など)
4. 子どもの教育環境
5. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
6. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
7. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
8. 虐待等を受けた社会的養護を要する子どもに対する支援
9. その他 ()

問51 日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

1. 病気や発育発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児のことがよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと
6. 子どもの教育に関すること
7. 子どもの友達づきあいに関すること
8. 子どもの登所登園拒否や不登校など
9. 特にない
10. その他 ()

(2) あなたに関すること

1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを親族、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4. 自分の子育てについて親族、近隣の人、職場など周りの見目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいけないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10. 子育てにかかる出費がかさむこと
11. 住居が狭いこと
12. 特にない
13. その他 ()

問52 自分の子どもを虐待しているのではないかと考えることがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 思う
- 2. ときどき思う
- 3. 思わない
- 4. なんともいえない

仕事と子育てについて

問53 家事（買い物も含む）、育児、介護・看護について、1日平均どのぐらい参画していますか。「1. している」に○をつけた方は、具体的な時間をご記入ください。また、分については15分刻み（15分・30分・45分）でご記入ください。（父親（保護者）・母親（保護者）についてそれぞれご記入ください。）

父親（保護者） ※母子家庭の場合は、記載不要です。	母親（保護者） ※父子家庭の場合は、記載不要です。
<p>【平日について】</p> <p>① 家事（買い物も含む）</p> <p>1. している 1日平均 <input type="text"/>時間 <input type="text"/>分くらい</p> <p>2. していない</p> <p>② 育児</p> <p>1. している 1日平均 <input type="text"/>時間 <input type="text"/>分くらい</p> <p>2. していない</p> <p>③ 介護・看護</p> <p>1. している 1日平均 <input type="text"/>時間 <input type="text"/>分くらい</p> <p>2. していない</p>	<p>【平日について】</p> <p>① 家事（買い物も含む）</p> <p>1. している 1日平均 <input type="text"/>時間 <input type="text"/>分くらい</p> <p>2. していない</p> <p>② 育児</p> <p>1. している 1日平均 <input type="text"/>時間 <input type="text"/>分くらい</p> <p>2. していない</p> <p>③ 介護・看護</p> <p>1. している 1日平均 <input type="text"/>時間 <input type="text"/>分くらい</p> <p>2. していない</p>
<p>【休日について】</p> <p>① 家事（買い物も含む）</p> <p>1. している 1日平均 <input type="text"/>時間 <input type="text"/>分くらい</p> <p>2. していない</p> <p>② 育児</p> <p>1. している 1日平均 <input type="text"/>時間 <input type="text"/>分くらい</p> <p>2. していない</p> <p>③ 介護・看護</p> <p>1. している 1日平均 <input type="text"/>時間 <input type="text"/>分くらい</p> <p>2. していない</p>	<p>【休日について】</p> <p>① 家事（買い物も含む）</p> <p>1. している 1日平均 <input type="text"/>時間 <input type="text"/>分くらい</p> <p>2. していない</p> <p>② 育児</p> <p>1. している 1日平均 <input type="text"/>時間 <input type="text"/>分くらい</p> <p>2. していない</p> <p>③ 介護・看護</p> <p>1. している 1日平均 <input type="text"/>時間 <input type="text"/>分くらい</p> <p>2. していない</p>

問54 あなたの家庭での生活の中で、「仕事」と「家庭生活（家事等も含む）」、「プライベート」に対する時間の優先度についてうかがいます。父親、母親それぞれについて「希望」と「現実」にもっとも近い答えの項目1つずつに○をつけてください。

		「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「プライベート」を優先	「仕事」と「家庭生活」を共に優先	「家庭生活」と「プライベート」を共に優先	「仕事」と「家庭生活」と「プライベート」を共に優先
父親	希望	1	2	3	4	5	6
	現実	1	2	3	4	5	6
母親	希望	1	2	3	4	5	6
	現実	1	2	3	4	5	6

※父親について母子家庭の場合は記載不要です。
 ※母親について父子家庭の場合は記載不要です。

問55 配偶者との家事、育児分担に満足していますか。父親、母親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

	満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	不満だ	わからない
父親	1	2	3	4	5
母親	1	2	3	4	5

※父親について母子家庭の場合は記載不要です。
 ※母親について父子家庭の場合は記載不要です。

妊婦健診等について

問56 今ふりかえて、妊娠・出産に関して、不安を感じていたと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 非常に不安を感じた | 2. 何となく不安を感じた |
| 3. あまり不安など感じなかった | 4. 全く感じなかった |
| 5. なんともいえない（わからない） | |

問57 今ふりかえて、妊娠・出産前後に必要な情報を得られていたと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|--------------|----------|
| 1. 得られていた | 2. 得られていなかった | 3. わからない |
|-----------|--------------|----------|

問58 妊娠した際の市のサービスを知っていますか。それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

サービス名	利用した	知っているが利用していない	知らない
A. 保健センターの保健師などによる健康相談	1	2	3
B. 保健センターのマタニティ教室、両親学級	1	2	3
C. 妊婦健康診査費用の助成（受診券の配布）	1	2	3

問59 にお答えいただいてから 問60 へお進みください。
 問60 へお進みください。

※東大阪市に居住している妊婦の方は、母子健康手帳の別冊の「妊婦健康診査受診券」を使用し健康診査費用の助成を14回受けることができます。

問 58 の C で妊婦健康診査受診券を「1. 利用した」に○をつけた方にうかがいます。

問 59 サービスに満足しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 満足した
2. まあまあ満足した
3. あまり満足していない
4. 不満だ
5. わからない

問 60 今ふりかえって、妊娠や出産について困ったことはありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 妊婦同士の交流の場が身近にないこと
2. 妊娠・出産についての情報や知識が入手しにくいこと
3. 妊娠・出産についての相談相手が身近にいないこと
4. 上の子どもを見てくれる人がいないこと
5. 家事・育児の協力者がいないこと
6. 医療機関の情報が入手しにくいこと
7. 健診費用の負担が大きいこと
8. 特にない
9. その他()

子どもの健やかな成長について

問 61 お子さんが小学校に入学する際、小学校での生活などについて、うまく過ごせるか不安がありましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 入学説明会があったので、不安はなかった
2. 入学説明会があったが、少し不安があった
3. 入学説明会以外に情報をとれる機会があったため、不安はなかった
4. 入学説明会など情報をとれる機会がなかったため、不安があった
5. 入学説明会は必要なく、不安はない
6. その他()

問 62 お子さんは、学校に行くのが楽しそうですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. とても楽しそうである
2. 楽しそうである
3. あまり楽しそうではないが、登校が苦痛ではない
4. あまり楽しそうではないが、友達や家族などの働きかけにより、通っている
5. あまり楽しそうでなく、休みがちである
6. わからない

問 63 宛名のお子さんは、地域における自然体験、社会参加、文化活動などに参加されたことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 参加したことがある ⇒ 問 64 にお答えください。
2. 参加したことがない ⇒ 問 65 へお進みください。

問63で「1. 参加したことがある」を選んだ方にうかがいます。

問64 お子さんが参加したことがある地域における自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スポーツ活動
2. 文化・音楽活動
3. ボランティア活動
4. ものづくりなど体験学習活動
5. キャンプなどの野外活動
6. 幼稚園や保育所、高齢者施設訪問等の社会福祉活動
7. ホームステイ等の国際交流活動
8. 子ども会など青少年団体活動
9. リサイクル活動などの環境分野での社会貢献活動
10. 自然観察などの環境教育活動
11. お祭りや文化祭など地域に根ざした活動
12. その他 ()

⇒ 問66へお進みください。

問63で「2. 参加したことがない」を選んだ方にうかがいます。

問65 お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 活動に関する情報がなく、参加しにくい
2. 知り合いなどがおらず、参加しにくい
3. はじめてのものが参加しにくい雰囲気がある
4. 参加の時間帯が合わない
5. 費用がかかる
6. 活動の内容に興味・関心がない
7. その他 ()

問66 お子さんと外出する際、困ること・困ったことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多く、安全に心配があること
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっていること
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備がないこと
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ないこと
7. 買い物や用事等の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
8. 緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりとうるおいがないこと
9. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害に遭うのではないかと心配なこと
10. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見ること
11. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと
12. その他 ()
13. 特に困ること・困ったことはない

問67 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 満足している
2. 満足していない
3. 普通

問 68 地域の子どもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 近くに遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない
10. 公園など遊び場のトイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
11. 遊び場周辺の道路が危険である
12. 不審者などがいて子どもに危険が及ばないかが心配である
13. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
14. その他 ()
15. 特に感じることはない

地域の助け合いによる子育てについて

問 69 子育てサークル（子ども会など地域での子育て支援活動）など自主的な活動に参加していますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 現在参加している
2. 現在参加していないが、今後機会があれば参加したい
3. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない

問 70 子育てサークル（子ども会など地域での子育て支援活動）や地域の子育て支援に貢献していますか。または、今後、貢献してみたいと思っていますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 現在貢献している
2. 現在貢献していないが、今後機会があれば貢献したい
3. 現在は貢献しておらず、今後も貢献しないと思う

問 71 近所づきあいをどの程度されていますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 困っているときは、相談したり助け合ったりする人がいる
2. 買い物や地域の行事などに一緒に行ったりする気の合う人がいる
3. たまに立ち話をするくらいの人がある
4. 道で会えばあいさつするくらいの人がある
5. 近所づきあいはほとんどしていない
6. その他 ()

問 72 子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられていると感じますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 感じる
2. 感じない

施策全般について

問73 行政（東大阪市、府、国）に対して、どのような子育て支援策の充実を図ってほしいと期待しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する
- 2. 親子が安心して集まれる保育所・幼稚園の園庭開放を充実する
- 3. 親子が安心して集まれる集いの場等の屋内の施設を整備する
- 4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む
- 5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
- 6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
- 7. 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識・技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
- 8. 子育てサークル活動への支援を充実する
- 9. 保育所、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）等の働きながら子どもを預ける施設を増やす
- 10. 幼稚園の保育サービスを充実する
- 11. 専業主婦・主夫など誰でも気軽に利用できるNPOや民営等による保育サービスの支援を行う
- 12. 安心して子どもが医療機関（小児医療など）を利用できる体制を整備する
- 13. 子どもの安全を確保する対策を充実する
- 14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
- 15. 子育て世帯への経済的援助を拡充する（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）
- 16. 公営住宅の優先入居・広い部屋の割り当て等、住宅面での配慮・支援に取り組む
- 17. その他（)
- 18. 特になし

問74 最後に、教育・保育環境の充実など子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

これで調査は終わりです。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

10月16日（水）までに同封の返信用封筒に入れてご投函ください。よろしくお願いいたします。

東大阪市子ども・子育て支援事業計画に関するアンケート調査 調査票【妊婦用】

はじめから順番に回答をお願いいたします。

あなたとご家族の状況について

問1 あなたの年齢は何歳ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 |
| 4. 30～34歳 | 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 |
| 7. 45歳以上 | | |

問2 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問3 あなたの家族の形態は、どれにあたりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 自分たち夫婦のみ | 2. 自分たち夫婦と子ども（2世代） |
| 3. 自分たち夫婦と子どもと親（3世代） | 4. 母子家庭 |
| 5. その他（ | ） |

問4 お子さん（現在、おなかの中にいらっしゃるお子さんを含む）は何人いらっしゃいますか。

お子さんの人数 人

問5 近所づきあいをどの程度されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 困っているときは、相談したり助け合ったりする人がいる | |
| 2. 買い物や地域の行事などに一緒に行ったりする気の合う人がいる | |
| 3. たまに立ち話をするくらいの人がある | |
| 4. 道で会えばあいさつするくらいの人がある | |
| 5. 近所づきあいはほとんどしていない | |
| 6. その他（ | ） |

妊娠・子育ての状況について

問6 お子さんをどちらにある医療機関で出産する予定ですか。

- | | | |
|----------|----------------|---|
| 1. 東大阪市内 | 2. 東大阪市の外の大阪府内 | |
| 3. 大阪府外 | 4. その他（ | ） |

問7 その理由を具体的にお書きください。（例：「帰省先だから」「希望する医療機関があったから」）

問8 お子さんを産後どちらにお住まいになる予定ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 東大阪市内（現在と同じ住まい）
- 2. 東大阪市内（現在とは違う住まい）
- 3. 東大阪市内の大阪府内
- 4. 大阪府外
- 5. その他（ ）
- 6. わからない

- ⇒ 問10へお進みください。
- ⇒ 問9にお答えください。
- ⇒ 問10へお進みください。

東大阪市内へ転出される予定の方にうかがいます。

問9 その時期はいつ頃ですか。産後予定のお子さんの年齢で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|------------|----------------|
| 1. 産前に | 2. 産後すぐにでも | 3. 生後3ヶ月以上1歳未満 |
| 4. 1歳 | 5. 2歳 | 6. 3歳 |
| 7. 4・5歳 | 8. 小学校入学時 | 9. 小学校入学以降 |
| 10. 未定 | | |

問10 その理由を具体的にお書きください。

.....

.....

.....

問11 妊娠や産後について困ったことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 妊婦同士の交流の場が身近にないこと | 2. 妊娠・産後について情報や知識が入手しにくいこと |
| 3. 妊娠・産後についての相談相手が身近にいないこと | 4. 上の子どもを見てくれる人がいないこと |
| 5. 家事・育児の協力者がいないこと | 6. 医療機関の情報が入手しにくいこと |
| 7. 健診費用の負担が大きいこと | 8. 特になし |
| 9. その他（ ） | |

問12 妊娠・産後にまつわる以下の項目について満足していますか。それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

項目	大変満足	ほぼ満足	やや不満	大変不満
A. 病院や産院の設備	1	2	3	4
B. 病院や産院のスタッフの対応	1	2	3	4
C. 妊娠、産後、育児についての不安への周囲の配慮	1	2	3	4
D. マタニティ教室・両親学級	1	2	3	4
E. 夫・パートナーの援助などの家庭環境	1	2	3	4
F. 職場の理解や対応	1	2	3	4
G. 妊娠中の受動喫煙への配慮	1	2	3	4

問13 産後やその後の育児に関して不安感や負担感を感じることはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。「1」または「2」に○をつけた方は理由もお答えください。

- 1. 非常に不安や負担を感じる } ⇒理由は何ですか。
- 2. 何となく不安や負担を感じる } ()
- 3. あまり不安や負担は感じない
- 4. まったく感じない
- 5. なんともいえない

問14 子どもをもうけようとするときに重要だと思う条件は何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 出産や子育てに必要な医療機関などが地域に整備されていること
2. 出産や子育ての際に頼りになる人（祖父母や親類、友人等）が近くにいること
3. 出産や子育ての際に相談できる窓口や体制が地域に整備されていること
4. 幼稚園や保育所、ファミリー・サポート・センターなどの子育て支援施設や仕組みが地域に整備・充実していること
5. 自分自身の家庭に経済的な余裕があること
6. 出産や子育てに伴う医療費など経済的な負担に対する行政の援助があること
7. 子どもの将来の教育にかかる経済的な負担に対する行政の援助があること
8. 子どもの将来の教育に関して望ましい教育施設（小・中学校、高校など）が地域に整備されていること
9. 子どもが就学してからの子育て支援の環境（留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の充実など）が地域に整備されていること
10. 子どもの将来に必要な住宅環境（部屋数の確保）や雇用環境が地域に整備されていること
11. 安心して出産や子育てができるように経済状態が改善する（景気が良くなる）ことや世の中の治安が安定していること
12. その他（ ）

問15 出産予定のお子さんを預かってもらえそうな人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえると思う
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえると思う
3. 日常的に子どもを預けられそうな友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられそうな友人・知人がいる
5. いずれもない

問16 妊娠・出産や子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

妊娠・子育てに関する相談や情報入手について

問17 妊娠・出産に必要な情報を得られていると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 得られている
2. 得られていない
3. わからない

問18 妊娠・出産について、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある/いる ⇒ 問19にお答えください。
2. ない ⇒ 問20へお進みください。

問18で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問19 気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. その他の親族（親、きょうだい等） |
| 3. 隣近所の人、知人、友人 | 4. 職場の同僚 |
| 5. 保育所、幼稚園、学校、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の保護者仲間 | 6. 子育てサークル等の仲間 |
| 7. 保育所の保育士、幼稚園・小学校の先生、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の指導者 | 8. 医師、保健師、看護師、助産師、栄養士など |
| 9. 専門カウンセリング（臨床心理士等） | 10. 家庭児童相談室（福祉事務所に設置） |
| 11. 子育て支援センター・つどいの広場 | 12. 母子自立支援員（福祉事務所に設置） |
| 13. コミュニティソーシャルワーカー（いきいきネット相談支援センター・福祉なんでも相談） | 14. ファミリー・サポート・センター |
| 15. 自治会役員 | 16. 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 17. 教育センター | 18. 保健所・保健センター |
| 19. 子ども家庭センター | 20. 子育て支援相談ダイヤル |
| 21. スマイルサポーター | 22. 療育センター |
| 23. ベビーシッター | 24. 自ら育児書・育児雑誌・インターネット等で調べる |
| 25. その他（ ） | |

※スマイルサポーターとは大阪府が認定し、地域の子育て家庭、高齢者や障害者等の相談活動等子育て支援の充実や地域の関係機関との連携強化を図る相談員のことです。

問20 子育てに関する相談機関（市の施設）を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問21 子育て支援サービスの情報は、入手しやすいと感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. 入手しやすい | 2. 入手しにくい | 3. どちらともいえない |
|-----------|-----------|--------------|

問22 育児に関する情報をどのように入手されていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|----------------------|----------------|
| 1. 親族（親、きょうだい等） | 2. 隣近所の人、知人、友人等 | 3. 子育てサークル等の仲間 |
| 4. 病院・医師・看護師など | 5. 職場の同僚 | 6. 市役所 |
| 7. 保健所・保健センター | 8. 保育所・幼稚園・子育て支援センター | 9. 市の広報やパンフレット |
| 10. 雑誌・育児書 | 11. テレビ・ラジオ・新聞 | 12. インターネット |
| 13. コミュニティ誌 | 14. 情報の入手方法がわからない | 15. 情報の入手先がない |
| 16. その他（ ） | | |

妊婦健診等について

問23 妊娠した際の市のサービスを知っていますか。それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

サービス名	利用した	知っているが利用していない	知らない
A. 保健センターの保健師などによる健康相談	1	2	3
B. 保健センターのマタニティ教室、両親学級	1	2	3
C. 妊婦健康診査費用の助成（受診券の配布）	1	2	3

問24 にお答えください。 問27 へお進みください。

※東大阪市に居住している妊婦の方は、母子健康手帳の別冊の「妊婦健康診査受診券」を使用し健康診査費用の助成を14回受けることができます。

問23のCで妊婦健康診査受診券を「1. 利用した」に○をつけた方にうかがいます。

問24 サービスに満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|---------------|------------------|
| 1. 満足している | 2. まあまあ満足している | } ⇒ 問25にお答えください。 |
| 3. あまり満足していない | 4. 不満に感じている | |
| 5. わからない ⇒ 問28へお進みください。 | | |

問24で「1. 満足している」または「2. まあまあ満足している」に○をつけた方にうかがいます。

問25 満足している理由をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 健診の助成回数が14回ある | 2. 助成額が10万円である |
| 3. 助成している健診の内容がよい | 4. その他 () |

⇒ 問28へお進みください。

問24で「3. あまり満足していない」または「4. 不満に感じている」に○をつけた方にうかがいます。

問26 不満に感じている理由をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 健診の助成回数が少ない | 2. 助成額が10万円では足りない |
| 3. 助成している健診の内容に不満である | 4. その他 () |

⇒ 問28へお進みください。

問23のCで「2. 知っているが利用していない」または「3. 知らない」に○をつけた方にうかがいます。

問27 妊婦健康診査費用の妊婦健康診査受診券を知らなかったり利用していなかったりする理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 妊婦健康診査を受けるお金があまりない | 2. どの病院にいけばよいか分からない |
| 3. 病院などで妊婦健康診査が受けられることを知らない | 4. 妊娠に気がつくのが遅かった |
| 5. 妊娠していることを考えたくない | 6. 病院などで診察してもらわなくてもなんとかなる |
| 7. 仕事や育児が多忙でなかなか病院にいけない | 8. その他 () |

問28 あなたには妊娠以外でのかかりつけの医師はいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|--------|--------------|
| 1. いる | 2. いない | 3. どちらともいえない |
|-------|--------|--------------|

就労状況と職場の両立支援制度について

問29 あなたの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1. 就労しており、産休を取る予定である | } ⇒ 問30にお答えください。 |
| 2. 就労しているが、産休中である | |
| 3. 就労しているが、出産を機に仕事を辞める予定である | ⇒ 問34へお進みください。 |
| 4. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ 問33へお進みください。 |
| 5. これまで就労したことがない | |

問29で、「1. 就労しており、産休を取る予定である」または「2. 就労しているが、産休中である」に○をつけた方にうかがいます。

問30 あなたは育児休業を取得する予定ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 育児休業を取得する予定である | ⇒ 問31にお答えください。 |
| 2. 育児休業を取得しない予定である | ⇒ 問34へお進みください。 |

問30で「1. 育児休業を取得予定である」に○をつけた方にうかがいます。

問31 育児休業取得後、職場に復帰する予定ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業取得後、職場に復帰するつもり
2. 育児休業後に退職するつもり
3. まだわからない

問32 お子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

⇒ 問34へお進みください。

問29で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問33 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（一枠に数字は一字）。

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり 日 1日当たり 時間 分

子どもや子育てについて

問34 希望として、子どもが何人ほしいですか。

人

問35 現在の家庭・教育環境等においても、出産後もう一人以上子どもを生き育てたいと考えると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 生き育てたいと思う
2. 生き育てたいとは思わない

問36 子育てについてのライフスタイルの希望

(1) これから出産されるお子さんについて、保育所、幼稚園等に何歳ぐらいから預けたいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 産後すぐに保育所に預けたい
2. 育児休業明けなどにあたる1歳ぐらいから保育所に預けたい
3. 3歳ぐらいから保育所や幼稚園に預けたい
4. 4歳ぐらいから保育所や幼稚園に預けたい
5. 保育所や幼稚園を利用する予定はない

(2) 母親の仕事と子育てに関する理想について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 仕事をせずに子育てに専念した方がよい
2. 子育てに専念するのに負担のない程度の仕事をした方がよい
3. 仕事と子育てを両立した方がよい

問37 小学生になるまで主にどこに通わせたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 保育所 2. 幼稚園
3. 認定こども園（保育所と幼稚園が一体化した施設） 4. その他（ ）

問38 子育てに関して、現在、不安を感じていますか。あるいは、過去に感じたことがありますか。現在と過去についてそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	非常に不安を感じる (感じた)	何となく不安を感じる (感じた)	あまり不安など感じない (感じなかった)	全く感じない (感じなかった)	なんともいえない (わからない)
過去	1	2	3	4	5
現在	1	2	3	4	5

必要な子育て支援サービス等について

問39 下記の子育て支援サービスを知っていたり、これまでに利用したりしたことはありますか。また、今後、利用したいと思いませんか。それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

サービス名	A. 知っている	B. これまでに利用したことがある	C. 今後利用したい
①保健センターの家庭訪問や電話・面接相談	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
②保健センターの育児教室	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
③こんにちは赤ちゃん事業	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
④ファミリーサポートセンター事業	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
⑤保育所・幼稚園の園庭（親子で集える場・屋外）の開放	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
⑥つどいの広場のような親子で集える場（屋内）の提供	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
⑦子育て支援センターまたは保育所での相談	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
⑧教育センター・教育相談室での相談	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
⑨幼稚園での相談	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
⑩市で実施する子育てセミナー・講演会	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
⑪休日・夜間の子育て相談ダイヤル	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
⑫ショートステイ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
⑬トワイライトステイ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
⑭子育て支援ガイドブック「花まるブック」、東大阪市子育てマップ、子育てサークル紹介などの子育て支援情報誌	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
⑮養育支援訪問事業	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない
⑯療育センターでの相談	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ 3. わからない

問40 行政（東大阪市、府、国）に対して、どのような子育て支援策の充実を図ってほしいと期待しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育所・幼稚園の園庭開放を充実する
3. 親子が安心して集まれる集いの場等の屋内の施設を整備する
4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識・技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 保育所、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）等の働きながら子どもを預ける施設を増やす
10. 幼稚園の保育サービスを充実する
11. 専業主婦・主夫など誰でも気軽に利用できるNPOや民営等による保育サービスの支援を行う
12. 安心して子どもが医療機関（小児医療など）を利用できる体制を整備する
13. 子どもの安全を確保する対策を充実する
14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15. 子育て世帯への経済的援助を拡充する（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）
16. 公営住宅の優先入居・広い部屋の割り当て等、住宅面での配慮・支援に取り組む
17. その他（ ）
18. 特になし

問41 最後に、教育・保育環境の充実など子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

これで調査は終わりです。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

10月16日（水）までに同封の返信用封筒に入れてご投函ください。よろしく願いいたします。

選考指数

基礎指数

居宅内外労働	主たる保育者が週5日以上、かつ40時間以上、居宅内外で働いており、それに見合う収入がある場合	82
	主たる保育者が週4日以上、かつ30時間以上、居宅内外で働いており、それに見合う収入がある場合	72
	主たる保育者が週12時間以上、居宅内外で働いており、それに見合う収入がある場合	62
	主たる保育者が週12時間以上、内職をしている場合	52
	主たる保育者の雇用主が配偶者又は親族で、週4日以上、かつ30時間以上、居宅内外で働いているが、それに見合う収入の証明がない場合	72
	主たる保育者の雇用主が配偶者又は親族で、週12時間以上、居宅内外で働いているが、それに見合う収入の証明がない場合	62
	主たる保育者が上記以外の就労等の場合	42
就学	主たる保育者が週4日以上、かつ30時間以上、就学している場合	72
	主たる保育者が週12時間以上、就学している場合	62
	主たる保育者が上記以外の就学等の場合(就学予定含む)	42
疾病等	主たる保育者が長期入院している場合や、寝たきり等で全面的に介助が必要である場合	91
	主たる保育者が長期疾病等で常時安静を要し、日中介助を必要とする場合	71
	主たる保育者が日中介助を必要としないが、自宅療養を指示されており保育が困難な場合	51
	主たる保育者が上記以外の疾病等で保育が困難な場合	31
障害等	主たる保育者が重度の障害を有し、保育が常時困難な場合	91
	主たる保育者が中度の障害を有し、保育が常時困難な場合	71
	主たる保育者が上記以外の障害を有し、保育が常時困難な場合	51
介護・看護等	主たる保育者が同居の親族等を常時介護又は看護しており、対象となる者が重度の障害者(児)又は寝たきり等で全面的に介助が必要な者である場合	83
	主たる保育者が日中介護又は看護しており、対象となる者が中度以上の障害者(児)、長期疾病等で長期入院中又は常時安静を要する状況で介助を必要とする場合	63
	主たる保育者が上記以外の介護・看護等で保育が困難な場合	43
妊娠・出産等	主たる保育者が出産予定日の前後2か月の期間である場合、又は主たる保育者が妊娠中であり、心身の状態から保育が困難と判断される場合	40
祖父母等と子どもの世帯	主たる保育者が週4日以上、かつ30時間以上、居宅内外で働いており、それに見合う収入がある場合	100
	その他の祖父母等と子どもの世帯	80
災害等	主たる保育者が居宅を失い又は破損し、その復旧にあたっている場合	100
関係機関及び施設の依頼等	関係機関からの入所依頼があるものや社会的養護が必要で里親委託が行われているもの等、特別な支援を要する場合	100
就労確定	主たる保育者が週4日以上、かつ30時間以上、居宅内外で働くことが確定している場合	60
	主たる保育者が週12時間以上、居宅内外で働くことが確定している場合	50
	主たる保育者が上記以外で、居宅内外で働くことが確定している場合	40
就労希望	ひとり親世帯で主たる保育者が求職活動をしている場合、又は生計中心者の失業等で主たる保育者が求職活動をしている場合	40
	主たる保育者が求職活動中の場合	20
その他	東大阪市内に居住している場合	10
	主たる保育者が求職活動をしていない場合又は上記以外の場合	0

調整指数

保護者状況による加点	
3	主たる保育者が就労時間の延長を予定しており、延長後の就労時間が現在の基礎指数の区分より上位の区分に該当する場合
14	主たる保育者が東大阪市内認可保育施設において、保育士等として、就労中又は就労が確定している場合
世帯状況による加点	
10	生活保護受給世帯(保育施設入所により自立が期待できる場合)
12	ひとり親世帯(就労・就労確定)
2	ひとり親世帯(上記と就労希望を除く)
児童状況による加点	
20	関係機関からの入所依頼があるものや社会的養護が必要で里親委託が行われているもの等、特別な支援を要する児童
11	兄弟姉妹が別々の市内認可保育施設(2・3号)に入所しており、一方が入所することで2園分離が解消される施設を第1希望とする場合
7	2歳クラスまでの市内認可保育施設の卒園予定児童で、保育の継続を図る必要がある場合(提携先のある園の卒園児を除く)
5	児童の兄弟姉妹が既に市内認可保育施設(2・3号)に入所している場合(2園分離加点世帯除く)
5	児童が認可外保育施設(企業主導型保育は除く)、就労型一時預かり等を、主たる保育者の入所要件に見合う日数・時間利用をしている場合、又は市外認可保育施設に委託入所している場合

【特記事項】
○家庭状況等、特別な事情がある場合は、選考において配慮することができる。
○選考において、選考指数が同じ場合、基礎指数が高いもの、希望順位が高いもの、主たる保育者の週当たりの通算就労時間が長いものの順に優先するものとする。
○主たる保育者が育児休業中の場合、入所理由証明書等において、入所後速やかに就労復帰することが確認できる場合、就労に準じて選考するものとする。
○認定こども園において、利用定員を満たした状況で教育・保育の受け入れ枠の変更が必要な場合、教育利用児童の保育利用の希望について入所選考上一定配慮することができる。
○家庭保育が可能な状況での認可外保育施設等の利用については、調整指数の加算対象としないものとする。
○「重度の障害」とは、療育手帳のA、身体障害者手帳の1級及び2級、精神障害者保健福祉手帳の1級に該当する場合。
○「中度の障害」とは、療育手帳のB1、身体障害者手帳の3級及び4級、精神障害者保健福祉手帳2級及び3級に該当する場合。
○主たる保育者とは、父子家庭を除き原則母親とする。
○保育士等とは、保育士、幼稚園教諭、子育て支援員、看護師・准看護師等の資格を有し、保育の業務を行うものとする。
○天災・その他理由により保育施設が閉園する場合において、該当施設に在園する児童の他の保育施設での保育の継続希望について、入所選考上一定配慮することが出来る。

東大阪市子ども・子育て会議幼保連携検討部会（第8回）（報告）

日時：平成30年9月12日（水） 9:30～11:30

場所：総合庁舎22会議室

出席者：委員

9名

（中川部会長、吉岡副部会長、竹村委員、中洲委員、西田委員、元田委員、林委員、今西代理委員、大庭代理委員）

事務局

15名

（立花、平田、岩本、松田、川西、関谷、森田、浅井、大西、松木、上田、藤浪、後藤）
（木田、溝口）

傍聴者

0名

計24名

資料：資料1 平成29年度 こども園に関する課題整理の概要について

資料2 年間行事（平成29年度）（行事比較表）

資料3 東大阪市幼保連携型認定こども園 教育・保育カリキュラム（平成30年度）（案）
東大阪市幼保連携型認定こども園 教育・保育カリキュラム

議 事

（1）平成29年度 こども園に関する課題整理の概要について

（2）東大阪市幼保連携型認定こども園教育・保育カリキュラム（平成30年度）（案）について

報告事項

1. 議題（1）について

①「平成29年度こども園に関する課題整理の概要について」に関し、整理内容については一定評価がなされ、今後は研修のあり方、こども園間の交流等幼保連携型認定こども園プロジェクトチーム会議を中心に継続した課題検証を行い、こども園の課題改善を図っていくこと。

②幼保連携検討部会に関し、公立こども園の現状把握の場として位置づけ情報提供を行うこと。

③給食提供時間が早いとの指摘（解決済）という記載を、より丁寧な表記とすべきではないか。との確認及び指摘がなされた。

2. 議題（2）について

「東大阪市幼保連携型認定こども園 教育・保育カリキュラム（平成30年度）（案）」に関し、カリキュラムと実践の比較検討を行う必要性、またカリキュラムの内容確認とともに、「教育・保育目標」部分について、より特徴的な記載を追加すべきではないか。

との確認及び指摘がなされた。

※上記下線内容については、事務局及び幼保連携型認定こども園プロジェクトチーム会議メンバーで再検討を行い、部会長承認のうえ修正。

3. 主な意見等

(1) に関し、

- 今後の研修のあり方や実施されている園同士も含めた全体の研修も大切であるが、こども園同士の園運営、クラス運営等中身の意見交換を行いながら良い部分を出し合い、1つにしていけるようなこども園同士の交流が今後より大切ではないか。
- いろんな課題が出てきたことにより各園だけで進めるのではなく、子どもすこやか部や教育委員会、現場の教職員が東大阪市として研修等をどうしていくのかを計画的に行えるよう早く調整してもらいたい。
- カリキュラムの作成について幼保の園長所長で話し合いをする場を持った中で、やはり1つのことを話しするにも「同じだね」ということが確認できた。また課題整理の中で、気をつける点、また保護者の求めるものもわかり、今後できる2つのこども園ではより一層良いものができるのではないか。
- 基本的に私立幼稚園は園独自でカリキュラム等特色を出しているため、情報提供として公立園のことは知っておきたいが、基本的に各私立幼稚園は「こういうことをやっています」というものがなければ、存在価値がないため公立園とカリキュラム等を合わせるの難しい。
ただ、幼小連携という話がある中で、小学校に行くときの子どものあり方は、ある程度共通した目標が必要であると思うので、この部分では一定合わせていけるかもしれない。
- 就労支援という女性の働き方が多様化している中で、子どもの生活時間がすごく変わってきている。子どもの生活時間を保育時間に連動させようという動きを民間園である自園でも話し合いを行っている。幼保は根本的には違うため、そこが一緒になるには話し合いの場を十分持ちながら、最終的には子どもの視点から見てどうゆうふうなカリキュラムを組んでいくかを考えるべきである。
- こども園になれば幼保両方のことを取り入れないといけないので、結局やるが増えてくる。このため、やり方を綿密に討議しなければならない。子どもにとっても良い方向、保護者にとっても良い方向になるのは何なのかを探る努力を減らすのではなくて、どういうやり方が一番いいかという討議を深めていくことが一番重要である。
- 実際こども園では研修体制をとることが非常に難しい。自園の中だけでも園内研修や研修を深めていくということが難しいため、どのように今後うまく工夫していくか大きな課題である。
等の意見及び指摘がなされた。

(2) に関し、

- 私たち園長が今進めている保育と教育と、このカリキュラムがあっているのかを考えていく時間がこれから必要になり、実践と見比べもう一度見直しを図っていくことを今後やっていかなければいけない。
- 幼児期の終わりまでに育て欲しい姿というのは、絶対できなければならない到達点ではなく、目指すということが幼保で確認できた。
- 「教育・保育目標」の4歳、5歳の目標が意欲の部分だけが書かれている。精査されたプロセスはあるが、4、5歳の特徴的な姿があるのではないか。小学校につなげていくという流れを見た時に大切にすることを、もう一度考え直してみたらどうか。
- カリキュラム全体として一つ作っているが、年間計画、月間計画、週案等はそれぞれ園独自で

個性を生かして作られているのか。

- 5歳の「教育・保育目標」がもう少し記載があっても良いのではないか。「教育・保育目標」では、目標にむかって力を合わせて活動し、自主性や協調性を育むということなので、友だちとの関わりを持つということは、イコール自らの判断あるいは、考えを示すことができるようになるということなので、自ら主体的にということであれば、自分の考えを持つ、あるいは行動することにつながるのではないか。

等の意見及び指摘がなされた。

【資料1】平成29年度 こども園に関する課題整理の概要について

参考資料3-1
第30回子ども・子育て会議

1. 第1回PT(プロジェクトチーム)会議の概要(H29.6.5開催)

【こども園開園後、2園の現状把握】

(1)教育保育内容の提供内容について

- *デイリープログラムについて
登園から14時までの時間の流れを確認。★給食時間及び午睡、降園時間に両園違いあり。
- *保育のリーダーについて
複数配置のため交代で担当。
- *週案の作成及び様式について
週案会議、クラス、学年で話し合って決め、今まで使っていたものを使用、今後、改善。
- *午睡について
別室利用、1号児の降園時と重ならないよう工夫し実施。午睡の時間帯は両園に違いがある。
- *幼稚園型預かり保育の実施について(14時～17時まで実施)
14時～は一時預かり室での保育。15時～は2号児と一緒におやつを食べ、一緒に過ごす。
- *教育保育日誌について
当日の保育内容を伝えるため、クラス及び玄関に掲示。

(2)地域子育て支援事業について

- *未就園の地域子育て支援事業を実施 *幼稚園型園庭開放は小阪のみ実施。

(3)地域連携について

- *小中連携、地域との連携等は幼稚園で取り組んでいた内容を基本的に実施。

(4)給食について

- *各園の給食の内容比較(写真参照:大きな違いはなし。)
- *4,5歳の給食提供時間が12時より早い(縄手南)との指摘 → 園の状況を確認し、下記のとおり改善
こども園では0歳児から5歳児までが在園しており、園児の年齢や状況等により提供時間が異なり、0歳から順次提供し、概ね11時半から12時前までには5歳児への提供を開始しております。

2. 第2回PT(プロジェクトチーム)会議の概要(H29.12.20開催)

【開園半年を経て、教育保育現場の声を中心とした現状把握】

(1)3～5歳児クラスの運営について(教育・保育現場への聞き取り内容の報告)

- *教育保育内容の調整工夫
 - *午後からの保育の工夫等
 - *教頭の役割分担等
- } 右記に詳細記載

(2)年間行事の取り組みと今後の予定

- *春から実施した行事の内容等の報告と今後の予定等の確認(別紙行事比較参照)
- *保護者参観、オープンデー等の取り組み
(保護者の状況)
1号児の保護者は子どもの様子を見る機会を幼稚園のときと同様にしてほしい。
2,3号児の保護者は就労の関係で平日参観等は日程調整が必要。
(29年度の対応)
2,3号児の保護者も参加しやすいようにオープンデーを実施。(子どもの様子を見る機会の設定)
(課題)
日程については2,3号児の保護者に配慮し、スケジュールをできるだけ早く通知する等の工夫が必要。
- *運動会の取り組み(隣接小学校の運動場を使用)
<縄手南> 近隣小学校園の運動会との日程調整(実施日の重複を避ける)が必要となり、土曜日実施及び午前中のみ使用という制約があった。
<小 阪> クラス数等園規模が大きくなったが、幼保両方の内容を取り入れたことにより、これまでの午前中の終了とはいかず、給食を提供し午後2時まで実施。

3. 教育・保育現場の声(H29.11)

【縄手南、小阪こども園の3歳～5歳児クラス担当保育教諭への聞き取り】

項目	内容
*教育保育内容に関する担任間の調整について	<p>【カリキュラムの組み立て・良い面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人の担任同士で話し合って週案を作成。園庭やホールの使用調整も同時に行っている。 ・お互いのこれまでのやり方を伝え、子どものことを中心に据えて教育・保育内容を考えている。 ・お互いの良いところは取り入れてやっていたことがけている。 ・お互いの保育の中で今まで知らなかったことを学べることも多く新鮮に感じ、教育保育にあたっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの経験ややり方(幼保で)が違うので、当初理解しあうのが難しく調整に時間がかかった。 ・カリキュラムの内容について開園までに継続してPT会議で話し合いは行ったが、保育教諭、園児等の事前交流が必要であった。 ・複数担任で2人の知っていることを出し合える良さもあるが、相談しないといけないので時間が足りない。 ・リーダーの交代は1週間。もう少し長いほうが保育の積み上げができるのではないかと。
*教育保育内容の調整について(4,5歳児2クラス間)	<p>【日々及び行事の取り組み・良い面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスや年齢で密に話し合いを行っている。 ・2クラスで違う内容の取り組みもあるが、教材を同じにしたり、教育・保育のねらい・レベルは揃えるようにしている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保双方の行事を取り入れたので行事数が増え、どのように精査するかは今後の課題。 ・行事の取り組み等各年齢の担任で話すことが増え、良いものをめざしているが、内容等調整に時間がかかる。 ・行事等の取り組みについて、園全体として一致させるのに時間がかかった。
*1号児2号児混合のクラス編成について	<p>【子どもの状況や変化・良い面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育経験のある子と初めて集団に入る子では春の頃は差が大きく、1号児は泣いてばかりの状況。半年経って1,2号児入り混じって良好な関係もできつつある。2号児のダイナミックな遊びに1号児が魅力を感じ興味をもったり、コミュニケーションをとってくれるので集団に慣れるのも早かったと感じる。 ・夏休み明け、1,2号児の状況に大きな差は特に感じなかった。 <p>【工夫していること・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午睡に入る時、2号児については1号児のお迎えの保護者と出合わないよう配慮している。 ・午後の保育について、午睡中は預かり児は別室での保育。15時からクラスにもどり、おやつを一緒に食べ降園まで同じクラスで過ごす。 ・午後(午睡)から3～5歳児を合同することで、保育教諭は教材準備の時間を確保することができた。 ・保護者の就労の有無等に配慮し、懇談会を2部制にしたため保護者同士の交流が図りにくい面があった。

【縄手南、小阪こども園の教頭への聞き取り】

項目	縄手南	小阪
教頭の分担について(2名体制)	・保育の指導助言、行事の進行、配布物の作成、会計関係等基本的な分担は決め、年度途中で一部交代しながら相互理解に努めた。	同左
園運営、教育保育の指導助言等	・基本は保育のサポートをしながら指導助言を行う予定であったが、業務量の多さから、十分な指導助言にあたれないという時間的な制約があった。	・管理職3人が園運営については共有。 ・前半は乳児幼児分かれ指導助言を行っていたが後半は交代しながら共通理解に努めた。
教育保育の調整(行事等含む)	・ひとつひとつ全保育教諭で話し決定していたので時間はかかった。考え方・内容等を一致させていくのに苦労の連続だった。	・保育所でも幼稚園でもなく、こども園というスタンスで、基本的には両方の行事を取り入れる中で負担にならない方法を見つけていった。 ・子どもにとって「何を大事にしたいか」を一致させることが大切で、初めての取り組みでも内容としては幼保で共通しているものもあった。
教育、地域との連携	・学校との交流等の取り組みが充実している。	・隣に小学校があり身近に交流できることは利点。

4. 1年間の園運営を振り返って(園長に対する聞き取り)H30.3

項目	縄手南	小阪
地域及び小中学校との連携に関し、留意したこと、今後の改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな年齢の子どもが関わることで刺激になっている。 ・今年度は、幼稚園でこれまで行ってきた取り組みをもとに実施をしたが、相互に連携し合うというより、小中学校にリードしてもらって交流することが多かった。そのため、今年度取り組みの中で感じた「交流を通して育まれた力」を、職員間で再確認すると共に、交流の大切さや交流を実施する上でのねらいを職員間で共通認識しながら、取り組みを進めていきたいと考えている。 ・福南校区校外指導協議会では、園区が広がったことで、取り組みへの参加や呼びかけ等、配慮すべき点も多くあった。PTA、保護者会の役員、園と連携し、参加や協力の仕方の工夫をしていく必要があると感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども園になってからも幼稚園と同様に参加。すべての連携会議等に参加は大変だったが、子ども園の認知度をあげ、子ども園に対する理解を得るためには今後も継続して参加いくことが大事。今年度の活動の中で地域の方の認知度が上がった。 ・市長部局の管轄では、学校教育との連携があまりなかったが、幼保連携型となって、多くの機関との連携が増え子ども園の必要性を知ってもらい、保育・教育内容の理解をより多くの市民の方々にしてもらったことができた。 ・保育所出身の保育教諭も、小・中学校との交流、連携は保育所も必要であると改めて認識することができたという意見を聞いている。1・2・3号とも、東大阪市の公立の学校に進学する園児がほとんど出る中、地域は広範囲であるが、学校園、地域との連携は必須であると考える。但し、様々な行事や、研修、連携の仕方は、幼稚園の時と同じでなく、多くの機関と詳細な話し合いをもち工夫しながら、参加出来るよう努力し続けることが大切である。 ・今年度も、近隣の私立の子ども園、保育園との連携を行ったが、今年度以降も、活動と理解の場を広げていきたいと考えている。
研修についての参加実績、今後の改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・伝達研修は、職員会議時等を利用して、月1回をペースに行うよう心がけた。 ・出来る限り最大数で参加できるよう体制を工夫したが、中には参加できない研修もあった。 ・幼保両方の部会への参加は難しいため、研修の資料を回覧するなどし、学びを広められるよう心がけた。また、部会には、今年は複数人数各部会に登録し、誰かが参加するという方法をとった。 ・幼保で交流できるように、幼稚園より外向の職員が保育所の部会に、保育所出身の職員が幼稚園での研究会に参加できる機会を数回持った。 ・全職員で共に学びを深めていくため、時間や持ち方を工夫しながら、園内研修を積極的に取り組んでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市長部局の悉皆研修はほぼ参加、教育委員会の研修は参加できないことも多かった。 ・園内研修は時間の工夫をしながら数回実施でき効果があった。 ・研修の時間帯の工夫が必要。→部会は時間変更してもらい参加しやすくなった。・教育と保育の合同研修等共通理解を深める工夫が必要。保育で大切にしたいことは、幼稚園も保育所も共有出来る事が多い中、保育室と教育委員会連携して効果的な研修計画を行ってほしい。 ・研修はどれも必要であることは、全教職員が理解している。今年度も工夫をしながらであるが、実施していきたい。2年目になって、互いに学び合いたいことや、得意な分野、苦手な分野が自園においては明確になってきている。今後は課題解決につながる実践的な研修をしていくつもりである。また、他の保育所私立園との合同研修も計画である。
保護者対応の中での配慮や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンデーや行事等取り組んできたが、日程の提示が遅かったこともあり、2号児の保護者の参加は少なかった。2号児の保護者も参観したいという思いはある。来年度は今年度の反省を踏まえ、年間計画を立てて保護者へ周知することが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労家庭も含め保護者への連絡通知文等早めに出したり、繰り返し発信する等丁寧な対応、情報提供をした。また、保護者への連絡は、(園内掲示・通知分・スマイルネット・担任からの講話のあらゆる手段を使い周知徹底した) ※年間の大きな行事は平成29年度は5月の園日より周知、平成30年度は入園式で、年間行事予定を周知した。 ・参観→2,3号児の保護者も参加しやすいようにオープンデーを増やす等の工夫が必要。保育士の負担を減らす時間帯や内容の工夫が必要。日曜参観の取り組みは保護者同士の交流にもつながった。PTA/保護者会ともに仲良く共存できるように丁寧に取り組み、行事は全て園主催とし両団体は協賛とした。
預かり保育(長期休み中)について	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり支援員の配置(予算拡充)が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり支援員の配置(予算拡充)が必要。 ・預かり保育の利用の仕方や、おやつ等の希望が増えてきた。詳細なマニュアルの見直しが必要であると思う。※災害時の時等も含めて ・夏休みより冬春季休み等の体制が難しい。H30年度のように人員マイナスの中での預かり保育は大変困難である。
園児に対し配慮した点	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムの違いから、子ども同士のつながりに初めは偏りがあったが、日々の保育活動を通して、次第につながりができていった。 ・参観の際には、保護者が参観に来られない子どもが寂しくならないように配慮した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1号児の登園・降園時間の時が、一番職員の体制が不足し園児が混乱した為、その時間帯のみのシフトを作り対応した。 ・全ての事において、幼稚園・保育所ということではなく、臨機応変に目の前の子どもにとって何が必要なのかを基準に対応できるようにした。 ・例:スタッキングベッドについて 慣れるまでは布団の使用も可能にする等保護者に選択の幅を持たせた。
教職員に対し配慮した点	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで保育所、幼稚園で大切にしてきた取り組みやその取り組みでのねらいなど思いや考えを出し合い、互いに理解し合えるよう、全体で話し合うことを大切にできたが、折り合いをつけていくのが難しかった。 ・当初は一人ひとりの意見を聞きながら会議をすすめていたが、時間もかかるため、学年で事前に意見をまとめて会議に出すよう変えていった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等やってきたことは幼保で違うところはあるが、子どもに対しての願いは同じという姿勢で一貫させてきた。一緒に保育する中で午睡の必要性や散歩も大切な活動ということが理解できた。 ・保育所からの保育士は幼児の担任が不安という意見が出た。幼保の担任でうまくやれたという事例もしているので、そこを園全体に広げながらお互いの良いところをどう残していくかが課題。 ・職員に何かを提示をする時や話し合う時には、まずは両教頭と3人で話し合い全教職員で取り組めるように管理職が十分に話し、幼保の視点が共に生かされるよう園運営を計画的に行なった。
次年度にむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども園になったことで、これまでの保育所や幼稚園とは変わる部分もあったが、保護者へ丁寧に説明する場が少なく保護者へ個々に対応することが多かった。次年度は園としての考え方をまとめて、丁寧に説明することが必要。 ・事務の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ・自園においては、幼保一緒になって良いところ多くあり、互いに学び合える事が出来た。幼保ともに共通する課題があり、子どもを取り巻く時代の変革の中で必要とされる施設が子ども園1園だけではいかぬと思う。簡単な課題でないが子どもの為に頑張っていきたい。 ・お互い(幼保で)大事にしていることの交流を現場の教諭・保育士で交流することが大切。保育観の一致。 ・徴収事務の負担軽減。(事務員の採用)が必要。

5. こども園移行後1年を経過した総括、次年度に向けた課題等について
(子どもすこやか部保育室)

公立の就学前教育・保育施設再編整備計画に基づき、平成29年度に本市ではじめて公立保育所及び幼稚園を集約した幼保連携型認定子ども園を2園(縄手南、小阪)整備した。

施設整備面での特徴は、これまでの既存の幼稚園舎の一部を活用しながら、新設の園舎を増設するもので、園児、保育教諭及び給食の配膳等の動線に配慮し建設を行ったものである。

ただし、敷地面積には制約があり、園児数の増加及び園舎の増設のため、幼稚園当時の園地面積より必然的に縮小せざるを得ず、これまで自園で行っていた運動会の実施ができない等園運営にも変化が生じることとなった。

また、保育室の数にも余裕がないため、実際の園運営を行う際には限られたスペースを工夫しながら教育・保育にあたってもらう状況となっている。

一方、実際の園運営に関しては、3歳から5歳の教育・保育については、幼稚園教諭及び保育士1名ずつ各クラスに配置し、お互いが子どものことを中心に考え、これまでの経験を生かした教育・保育内容を取り入れながら質の高いものを提供できたと考えている。

ただし、開園した後には決定する事項も数多くあり、園長等現場の教職員には多大な負担をかけた事実もある。第1回PT会議の内容にあるディリープログラム、週案の作成等がその例として挙げられる。

また、教育・保育内容についても、教育・保育現場の声に記載のとおり、特に事前の保育教諭の交流ができなかったため、教育・保育内容のすり合わせに時間がかかる、幼保のこれまでの行事を概ね取り入れたことにより行事数が多くなったことも課題である。

また、保護者対応に関し、縄手南子ども園では、行事予定等の情報提供の遅れや要望に対し迅速な対応ができず、在園児の保護者に不満や不信感を抱かせた事例もあり、次年度ではこの点については十分配慮し対応できるよう各園との連携を図っていく予定である。

そのほか検討していくべき課題(下記参照)は山積しており、継続した園運営の内容確認の場、課題事項の検討の場が必要と考える。

今後は、平成31年度に(仮称)大蓮、平成32年度に(仮称)孔舎衛子ども園が開園予定となっている中、先行して開園した2園の現場の声を大切にしながら、改善できる面は早急に対応していく予定である。

最後に、子ども子育て会議、幼保連携検討部会をはじめ、関係部局からの意見、指摘等を参考にしながら、より良い園運営ができるよう引き続き努めていきたい。

(参考)平成30年度課題一覧

- ・PTAと保護者会のあり方について(並存による園との関わり等課題整理)
- ・研修の参加について
- ・1号児の支援のいる子に対する加配について
- ・徴収金の実績の検証と今後の使い方について

(次年度に向けた)

- ・(仮称)大蓮及び孔舎衛子ども園開園に向けた課題整理
 - ①各子ども園年間・期別・月別カリキュラム・週案・日案の作成
 - ②年間行事日程案の作成
 - ③園児、保育士及び幼稚園教諭、保護者の交流について
 - ④教育保育内容・保育観のすり合わせ
 - ⑤小阪・縄手南子ども園との交流(保育現場の見学、意見交換等)
 - ⑥施設内外の動線の確認(基本計画図面参照)
 - ⑦小阪・縄手南子ども園長との意見交換

【資料2】年間行事(平成29年度)(行事比較表)

	行事名	小阪			縄手南		
		月	年齢	内容	月	年齢	内容
1 学 期	入園・進級式	4月	全年齢	入園・進級を祝う式典 乳児の部と幼児の部の2部制で実施	4月	全年齢	1部進級式、2部入園式とし、幼稚園・保育所からの進級児は進級式に参加。新入園児は入園式に参加
	家庭訪問	4月	全年齢	通園経路を知り、家庭環境を知る手だてとする			
	こいのぼり集会	5月	全年齢	こいのぼり・兜など、制作したものを見せ合って歌を歌ったりする	5月	全年齢	年齢にあった参加の仕方を実施 各年齢ごとに作ったこいのぼりを見せ合う
	交通安全教室	6月	全年齢	オープンデーと合わせて実施 布施警察の指導で歩行訓練とDVD鑑賞を行う	5月	4・5歳	4歳児・5歳別日で実施
	園外保育	5月	全年齢	4.5歳児 ドリーム21 3歳児 八戸ノ里公園 1.2歳児 小阪大和公園 0歳 地域散策	5月	5歳	5歳児 枚岡公園森のおもちゃ箱 4歳児 感染性胃腸炎発生のため中止
	歯磨き指導	6月	幼児	保健師・養護教諭による指導を実施	6月	幼児	養護教諭・看護師の指導で実施
	オープンデー	6月	幼児	登園より昼食の時間帯までを参観可とする 写真撮影禁止 2号の保護者も多数参加 「英語で遊ぼう」活動参観	7月	幼児	2日間行い、都合の良い日程で参観 9:00～13:00
	給食試食会	幼児6月 乳児7・8月	全年齢	乳児・幼児別でそれぞれの参観と合わせて実施	7月	幼児	オープンデーと同時に実施
	調理員の講話	幼児6月 乳児7・9月	全年齢	試食会の時と同時開催 調理員から郷土料理等について講話	7月	幼児	オープンデーと同時に実施 給食提供をするにあたって大切にしていることなど話してもらう
	プール開き	6月	全年齢	全園児でプール遊び・水遊びの決まりを確認し、期待を持たせる	6月	1～5歳	遊戯室に集まって体操した後、各年齢ごとにプールに入水する
	中学校運動会	6月	4・5歳児	中学3年生と4・5歳児が一緒にバルーン・ダンスで参加(当日までも運動会に向けての交流あり)	6月	5歳	ディズニー体操とバルーンを2クラス合同で参加
	小学校交流	7月	5歳	仲よし遊び・プール交流(小学校のプールを使って)	6月	4・5歳	縄南まつり・七夕飾り作りの2回実施 保育所からの子どもは初めてだったが、保護者からも喜ばれた
	七夕のつどい	7月	全年齢	全園児で棚早の由来の絵本を大シアターで鑑賞したり、歌を歌って思いを寄せる。 全園児笹と笹飾りの制作(持ち帰りあり)	7月	全年齢	各クラスで作った飾り等を見せ合い、笹2本に飾りつけを行う。 (幼児は笹の持ち帰りあり)
	夏のタベ	7月	全年齢	夕方から実施 保護者・子ども一緒に、縁日遊びや盆踊りを楽しむ			
	縁日ごっこ				7月	全年齢	午前中、保護者の協力で実施 2・3号児は初めての取り組みだが、PTA・保護者会の協力のもと、全園児が楽しんだ
	サマープレイデイ				6月	5歳	9:00～17:00お泊りごっこ 1号児は初めての取り組みだが、クッキング等でき保護者も喜んでくれて楽しい1日となった
	プール参観	7月	幼児	プール遊びの様子を参観 写真撮影は禁止	7月	幼児	オープンデーと同時開催
	クラス(学年)懇談会	夏	乳児	こどもの様子や、保護者のコミュニケーションの場とする	6月	全年齢	子どもたちの日頃の様子やプール遊び・水遊びについて伝える。 (5歳児はサマープレイデイの取り組みについても話をする。)
	個人懇談会	7月	幼児	子どもの様子を個別に伝える	6月	幼児	家庭訪問のかわりに実施。 入園、進級してからの家庭での子どもたちの様子を伺う。
	参観 (保育参加を含む)	7月 8月	乳児	水遊び参観 数日間のうち希望する日に参観してもらいながら日常の様子を懇談する			

【資料2】年間行事（平成29年度）(行事比較表)

	行事名	小阪			縄手南		
		月	年齢	内容	月	年齢	内容
2 学 期	敬老の日のつどい	9月	全年齢	祖父母の方とふれあい、楽しい時間を過ごす 乳児・幼児の2部制で実施 (※祖父母のみの参加)			
	コンサート	9月	全年齢	バイオリン・ピアノ演奏			(3学期に実施)
	クラス懇談会				9～10月	全年齢	運動会のねらいや子どもたちの取り組みの様子を伝える。
	小阪中まつり	10月	4・5歳	他の学校園と一緒に市民の方の前で歌や踊りを披露 4・5歳児以外は自由参加 ・中学校ブロックと地域教育支援活動			
	運動会	10月	全年齢	幼保ともにプログラムの削減はせず、午後からもプログラムを実施 給食提供する 小学校の運動場で行う	10月	全年齢	午前中に実施 縄手南小学校運動場で行う
	芋掘り遠足	10月	幼児	秋の自然を感じる、鏝物なる様子を知り収穫の喜びを知る、持ち帰った 芋を給食で味わう、などの目標だったが、今年度は雨で中止	10月		近隣の芋畑で実施 芋煮会用を残し、全園児持ち帰り
	全体クッキング	11月	全年齢	年齢にあったクッキング法で参加 メニュー「きりたんぼ」	10月	1～5歳	芋煮会 幼児で掘った芋を使用 年齢にあったクッキング方法で調理し、切った具材を遊戯室に集まって見 せ合う 1号児は初めての取り組みだが、意欲的に参加し、普段食べない食材も 食べていた
	こさかハロウィン	10月	全年齢	ハロウィンの仮装を楽しみながら商店街の方とふれあい、お店の様子を 知り、ごっこ遊びにつなげる 小阪自治会との交流			
	防犯教室				10月	4・5歳	遊戯室に集まり、警察より「不審者対応」の講習を実施
	太鼓台巡行				10月	全年齢	太鼓台の引き回しを実施。1号児は初めてで、太鼓台に乗ったり引き回し たり、太鼓をたたいたりして楽しむ
	保育参観	11月	幼児	作って遊ぼう参観 子育て講演会と同日に行う 個人作品の展示は2月にし、作って遊ぶことに集中 乳児の作っている様子は動画で鑑賞してもらう	11月 (3・4歳) 12月(5歳)	幼児	3・4歳はお店屋さんごっこに必要なものを保護者と一緒に作る。 5歳はお店屋さんごっこ当日を保護者と一緒に楽しむ。
	オープンデー	11月	4・5歳	3日間開催 園児の日常の様子を、決められた時間内で自由に参観してもらう 販売用の写真展示を兼ねて行う			

【資料2】年間行事（平成29年度）(行事比較表)

	行事名	小阪			縄手南		
		月	年齢	内容	月	年齢	内容
2 学 期	園外保育	11月	幼児	キッズプラザ(電車)	11月	幼児	バス遠足 浜寺公園
	園外保育				11月	5歳	ドリーム21で観劇(路線バス)
	中学生交流	9・1・3月	5歳	ラグビー交流、小阪中学校ラグビー部と中学校の先生の指導のもと年間3回の交流の後3月にラグビー大会を行う	11月	5歳	中学生に見守られながらハイキングを実施 中学校でお弁当を食べる
	中学生交流 (職業体験) (保育実習)	11月	全年齢	職業体験は小阪中・上小阪中の2校受け入れ 保育実習は小阪中のみ それぞれ2日間	11月	4・5歳	職業体験は池島中 保育実習は縄南中を受け入れ
	ピアノ鑑賞会	12月	全年齢	楽器に興味関心を持つきっかけの一つとし、音楽会へ期待を持たせる			
	餅つき	12月	全年齢	地域の方や友達と一緒に餅をついたり食べたりして楽しむ 持ち帰りは当日の引き渡しのみとする	12月	全年齢	伝統の餅つきを見たり体験して、出来上がった餅を食べる (持ち帰りなし)
	音楽会	12月	幼児	友達と一緒に歌ったり合奏したりして楽しむ(参観)			(3学期に開催)
	楽しいつどい お楽しみ会	12月	全年齢	友達や先生と一緒に歌ったり踊ったりしてクリスマスの雰囲気を楽しむ サンタクロースとのふれあいを楽しんだりプレゼントをもらって楽しい時間を過ごす	12月	全年齢	友達や先生と一緒に歌ったり職員の出し物を見たりしてしてクリスマスの 雰囲気を楽しむ。 サンタクロースとのふれあいを楽しんだりプレゼントをもらって楽しい時間を 過ごす。
	個人懇談会	12・1月	全年齢	子どもの様子を個別に伝える 1号児は12月上旬から 2号児は降園時間に保護者と話し合って設定 乳児は12月下旬から1月中旬にかけて	12月	幼児	子どもの様子を個別に伝える 2号児は仕事の都合を含めて保護者と話し合って日程調整する

【資料2】年間行事（平成29年度）(行事比較表)

	行事名		小阪		縄手南		
	3 学 期	日曜参観	1月	全年齢	日常の様子を見てもらい、楽しい遊びの時間を一緒に過ごす 講師招聘		
観劇		1月	全年齢	劇団クラルテ(自由参観)	2月	全年齢	人形劇団京芸
					3月	幼児	人形劇団大福 PTAの保護者(PTA会費より支出のため)の希望者のみ参
オープナー			全年齢	園児の日常の様子を、決められた時間内で自由に参観してもらう 冬の遊び、正月遊びが中心 乳児クラスは該当の保護者のみの参観とする			
音楽会				(2学期に実施)	2月	幼児	友達と一緒に歌ったり合奏したりして楽しむ(参観)
節分のつどい		2月	全年齢	節分の由来を知り豆まきを楽しむ 鬼の面や三宝を折り紙で作るなどして楽しむ	2月	全年齢	5歳児が鬼になって豆まきを楽しむ
生活発表会		2月	全年齢	ホールで行う 2部制で行い、1部は乳児、2部は幼児	2月	全年齢	0・1歳は保育室で行い、2～5歳児は遊戯室で行う 会場の広さの違いで保護者は入れ替え制
お別れ遠足		2月	全年齢	0・1歳 ドリーム21 2・3歳 ATCあそびマーレ(バス) 4・5歳 レゴランド大阪(バス)	2月	2～5歳	2・3歳 海遊館(バス) 4・5歳 いちご狩り(バス)
絵画展		2月	全年齢	春から描いた作品を0歳児からホールに展示する。展示期間を数日設 け、保護者が子供と自由に鑑賞できるようにする	2月	全年齢	春から描いた作品を0歳児から遊戯室、一時保育室、廊下等を利用して 展示する。展示期間を数日設け、保護者が子供と自由に鑑賞できるよう にする。
ラグビー大会		3月	5歳	中学校の先生が審判をしてきて大会をする 参加は5歳児だが、5歳児以外の保護者も参観可			
お別れ会		3月	全年齢	卒園式の意味を知らせ、卒園児の就学を祝う。在園児と卒園児との交流 を楽しむ。(歌のプレゼントや手づくりのプレゼントを渡す)	3月	全年齢	園庭で行う予定だったが、雨のため遊戯室で行う。 歌を歌ったり、5歳児とふれあい遊びを行う。
小学校見学			5歳	小学校の様子を知り興味関心と就学への期待を持つ。	2月	5歳	小学校の様子を知り興味関心と就学への期待を持つ。
コンサート				(2学期に実施)	3月	全年齢	フルート・ピアノコンサート PTAの保護者(PTA会費より支出のため)の希望者のみ参加。
ひな祭りのつどい		3月	全年齢	ひな祭りの由来を知り、歌を歌ったり紙芝居や絵本を楽しむ。	3月	全年齢	各クラスでひな祭りについての話をしたり、製作をして楽しむ。
個人懇談		3月	乳児 幼児	子どもの様子を個別に伝える (必要に応じて)			
クラス懇談会					2月	全年齢	生活発表会のねらいや子どもたちの取り組みの様子を伝える。 5歳児は卒園式に関しても話をする。
卒園式	3月	4・5歳	ホールで実施。卒園証書の授与を行う。	3月	4・5歳	遊戯室で実施。卒園証書の授与を行う。会場の都合で4歳は歌と言葉の ときのみ入場。	

特定教育・保育施設(2号・3号)入所状況の推移

(平成30年7月再計算後)

	就学前児童数	人口	人口に占める就学前児童	入所定員数	入所児童数	入所申込児童数	内新規入所数	企業主導型・一時預かり利用児童数	未入所児童数	待機児童数	
平成22年度	24,749	505,391	4.9%	6,297	6,806	2,352	1,486		866	220	
平成23年度	24,348	504,506	4.8%	6,507	7,093	2,426	1,736		690	192	
平成24年度	24,093	503,378	4.8%	6,517	7,148	2,433	1,614		819	214	
平成25年度	23,694	502,164	4.7%	6,797	7,379	2,540	1,820		720	230	
平成26年度	23,119	500,370	4.6%	6,807	7,447	2,474	1,711		763	284	
平成27年度	22,620	498,023	4.5%	7,474	7,773	2,669	2,084		585	206	
平成28年度	21,969	495,615	4.4%	7,931	8,104	2,591	2,229		362	127	
平成29年度	21,394	493,186	4.3%	8,323	8,398	2,655	2,278		377	106	
平成30年度	20,855	491,002	4.2%	8,422	8,560	2,561	2,190	71	300	80	
地区別	A地区	2,502	57,300	4.4%	889	531	162	130	4	28	9
	B地区	2,699	65,446	4.1%	874	1,311	396	304	15	77	20
	C地区	3,111	63,509	4.9%	1,294	1,289	394	333	16	45	14
	D地区	4,148	95,197	4.4%	1,786	1,556	470	389	17	64	21
	E地区	1,556	34,085	4.6%	610	575	181	173	0	8	4
	F地区	3,914	96,637	4.1%	1,719	1,863	557	513	11	33	7
	G地区	2,925	78,828	3.7%	1,250	1,435	401	348	8	45	5

※平成30年度から厚生労働省が待機児童の定義を見直したため、企業主導型保育事業・地方単独保育施策(一時預かり事業)の利用児童は、待機児童から除いています。

※平成30年6月29日に公益財団法人児童育成協会から企業主導型保育事業の利用者について情報提供があったことから、未入所児童数、待機児童数について再計算を実施した。

修正概要

	修正前	修正後
企業主導型・一時預かり利用児童数	67	71 B.C.D.G地区で各1名増
未入所児童数	304	300 B.C.D.G地区で各1名減
待機児童数	81	80 B地区で1名減

東大阪市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者選考部会からの報告

(1) 保育園

【法人の募集条件について】

- | | | |
|------------------------------|-------|-----|
| ① Aリージョンのうち石切中学校区または孔舎衛中学校区内 | 60名定員 | 1箇所 |
| ② Bリージョンのうち枚岡中学校区または縄手北中学校区内 | 90名定員 | 1箇所 |
| ③ Fリージョンのうち意岐部中学校区または新喜多中学校区 | 90名定員 | 1箇所 |
| ④ Gリージョンのうち上小阪中学校区または弥刀中学校区 | 60名定員 | 1箇所 |

【法人の応募数】

- | | |
|------------|-----|
| ① Aリージョン地域 | 1法人 |
| ③ Fリージョン地域 | 2法人 |
| ④ Gリージョン地域 | 1法人 |

【開園時期】

平成32年4月1日

【選定結果】

法人名	リージョン	定員
社会福祉法人 幸祥会	A	60
社会福祉法人 杏林福社会	F	90
社会福祉法人 どんぐり福社会	G	60

(2) 小規模保育施設

【法人の募集条件について】

- | | |
|--------------------|-----|
| Dリージョン地域のうち玉川中学校区内 | 2箇所 |
|--------------------|-----|

【法人の応募数】

- | | |
|----------|-----|
| Dリージョン地域 | 1法人 |
|----------|-----|

【開園時期】

平成31年4月1日

【選定結果】

選定法人なし

【選考までの経過】

平成30年5月1日より、募集要項にもとづき設置・運営法人の募集を行ったところ、小規模保育施設は、平成30年6月18日から6月22日までの申請書類受付期間において1件の応募、保育園は、平成30年6月25日から6月29日までの申請書類受付期間において4件の応募があった。

申請書受付日から7月20日までの書類審査を経て、7月21日に面接審査を応募事業者に対して実施した。

【再公募について】

選考に至らなかった地域について、2回目の公募を実施しています。

募集条件については、「東大阪市内の法人」から「大阪府内の法人」に拡大して実施しています。

(1) 保育園

【法人の募集条件について】

Bリージョンのうち枚岡中学校区または縄手北中学校区内 90名定員 1箇所

【再公募スケジュール】

募集要項の配布 平成30年9月3日（月）～10月5日（金）

申請書類受付 平成30年10月9日（火）～10月12日（金）

面接審査 平成30年10月28日（日）

(2) 小規模保育施設

【法人の募集条件について】

Dリージョン地域のうち玉川中学校区内 2箇所

【再公募スケジュール】

募集要項の配布 平成30年8月15日（水）～9月7日（金）

申請書類受付 平成30年9月10日（月）～9月14日（金）

面接審査 平成30年10月2日（月）

幼児教育の無償化について

平成30年7月30日

これまでの検討状況)

- 平成29年12月 8日 「新しい経済政策パッケージ」(閣議決定)
- 平成30年 5月31日 「幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲等に関する検討会報告書」(とりまとめ)
- 平成30年 6月13日 「入づくり革命 基本構想」(人生100年時代構想会議とりまとめ)
- 平成30年 6月15日 「経済財政運営と改革の基本方針2018」(閣議決定)

「新しい経済政策パッケージ」 「経済財政運営と改革の基本方針2018」の主な事項

幼児教育・保育の役割)

20代や30代の若い世代が理想の子供数を持たない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最大の理由であり、教育費への支援を求める声が多い。子育てと仕事の両立や、子育てや教育にかかる費用の負担が重いことが、子育て世代への大きな負担となり、我が国の少子化問題の一因ともなっている。このため、保育の受け皿拡大を図りつつ、幼児教育の無償化をはじめとする負担軽減措置を講じることは、重要な少子化対策の一つである。

また、幼児期は、能力開発、身体育成、人格の形成、情操と道徳心の涵養にとって極めて大切な時期であり、この時期における家族・保護者の果たす第一義的な役割とともに、幼児教育・保育の役割は重要である。幼児教育・保育は、知識、IQなどの認知能力だけではなく、根気強さ、注意深さ、意欲などの非認知能力の育成においても重要な役割を果たしている。加えて、人工知能などの技術革新が進み、新しい産業や雇用が生まれ、社会においてコミュニケーション能力や問題解決能力の重要性が高まっている中、こうした能力を身につけるためにも、幼児期の教育が特に重要であり、幼児教育・保育の質の向上も不可欠である。

さらに、幼児教育が、将来の所得の向上や生活保護受給率の低下等の効果をもたらすことを示す世界レベルの著名な研究結果もあり、諸外国においても、3歳～5歳児の幼児教育について、所得制限を設けずに無償化が進められているところである。

安倍政権においては、平成26年度以降、幼児教育無償化の段階的推進に取り組んできたところであり、幼稚園、保育所、認定こども園において、生活保護世帯の全ての子供の無償化を実現するとともに、第3子以降の保育料の無償化の範囲を拡大してきた。そして、今年度からは、住民税非課税世帯では、第3子以降に加えて、第2子も無償とするなど、無償化の範囲を拡大してきた。

- 1 国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査（夫婦調査）」(2015年)によると、妻が50歳未満である初婚同士の夫婦のうち、予定子供数が理想子供数を下回る夫婦を対象に行った質問（妻が回答）において、理想の子供数を持たない理由（複数回答）について、30歳未満では76.5%、30歳～34歳は81.1%が「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答している。
- 2 内閣府「結婚・家族形成に関する意識調査」(2014年度)によると「どのようなことがあれば、あなたは（もっと）子供がほしいと思うと思いますか」との質問に対し（複数回答）、「将来の教育費に対する補助」が68.6%で第一位、「幼稚園・保育所などの費用の補助」が59.4%で第二位となっている。
- 3 例えば、イギリス、フランス、韓国においては、所得制限を設けずに無償化が行われている（イギリスでは5歳から義務教育）。

無償化の対象範囲)

子育て世帯を応援し、社会保障を全世代型へ抜本的に変えるため、幼児教育の無償化を一気に加速する。広く国民が利用している3歳から5歳までの全ての子どもたちの幼稚園、保育所、認定こども園の費用を無償化する。なお、子ども・子育て支援新制度の対象とならない幼稚園については、公平性の観点から、同制度における利用者負担額を上限として無償化する。

※ 地域型保育 (小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育及び事業所内保育)は、認可保育所と同様に無償化の対象とする。また、企業主導型保育事業についても、利用者負担相当分を無償化の対象とする。

0歳～2歳児についても、当面、住民税非課税世帯を対象として無償化を進めることとし、現在は、住民税非課税世帯の第2子以降が無償とされているところ、この範囲を全ての子どもに拡大する。

就学前の障害児の発達支援 (いわゆる障害児通園施設)についても、併せて無償化を進めていく。また、幼稚園、保育所及び認定こども園と障害児通園施設の両方を利用する場合は、両方とも無償化の対象とする。

認可外保育施設の無償化の対象者・対象サービス)

対象者は、今般の認可外保育施設に対する無償化措置が、待機児童問題により認可保育所に入ることができない子供に対する代替的な措置であることを踏まえ、認可保育所への入所要件と同一とする。すなわち、保育の必要性があると認定された子供であって、認可保育所や認定こども園を利用できていない者とする。

対象となるサービスは、以下のとおりとする。

- ・ 幼稚園の預かり保育
- ・ 一般的にいう認可外保育施設、地方自治体独自の認証保育施設、ベビーホテル、ベビーシッター及び認可外の事業所内保育等のうち、指導監督の基準を満たすもの。ただし、5年間の経過措置として、指導監督の基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする猶予期間を設ける。

※ このほか、子ども・子育て支援法に基づく一時預かり事業、病児保育事業及びファミリー・サポート・センター事業を対象とする。

認可外保育施設の無償化の上限額)

無償化の上限額は、認可保育所の利用者との公平性の観点から、認可保育所における月額保育料の全国平均額 月額3.7万円 (0歳から2歳児については月額4.2万円)とする。幼稚園の預かり保育については、幼稚園保育料の無償化上限額 (月額 2.57万円)を含めて、上述の上限額まで無償とする。

実施時期)

2019年10月からの全面的な無償化措置の実施を目指す。

待機児童解消に向けた取組み)

0歳～2歳児が9割を占める待機児童について、3歳～5歳児を含めその解消が当面の最優先課題である。待機児童を解消するため、「子育て安心プラン」を前倒しし、2020年度までに32万人分の保育の受け皿整備を着実に進め、一日も早く待機児童が解消されるよう、引き続き現状を的確に把握しつつ取組を進めていく。

認可施設への移行の促進)

今後、保育の質の確保が重要であることに鑑み、認可外保育施設の認可施設への移行促進策の強化を検討し、指導監督基準を満たさない認可外保育施設も含め、認可施設への移行を加速化する。

その他今後検討する事項

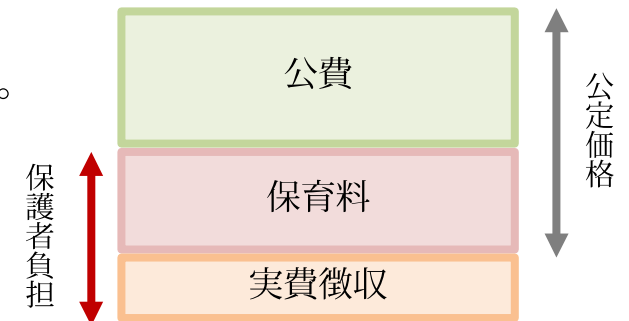
1. 「幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲等に関する検討会報告書」（平成30年5月）（抜粋）

保護者から実費として徴収している通園送迎費、食材料費、行事費などの経費については、無償化の対象から除くことを原則とすべきである。なお、そもそも認可施設における食材料費の取扱いが保育の必要性の認定種別間で異なっている現状があり、上記原則を踏まえた対応について早急に検討すべきである。

2. 保護者の自己負担の仕組み（現状）

（1）保護者の自己負担の方法

- ①保育料 保護者が施設（保育所は市町村）に支払う（子ども・子育て支援法）。
- ②実費徴収 保護者が施設に実コストに応じて支払う（運営基準）。
 - ・日用品・文房具等、行事参加費用、食事提供費用、通園送迎費用、その他通常必要とされる便宜に係る費用
 - ・事前の明示、同意

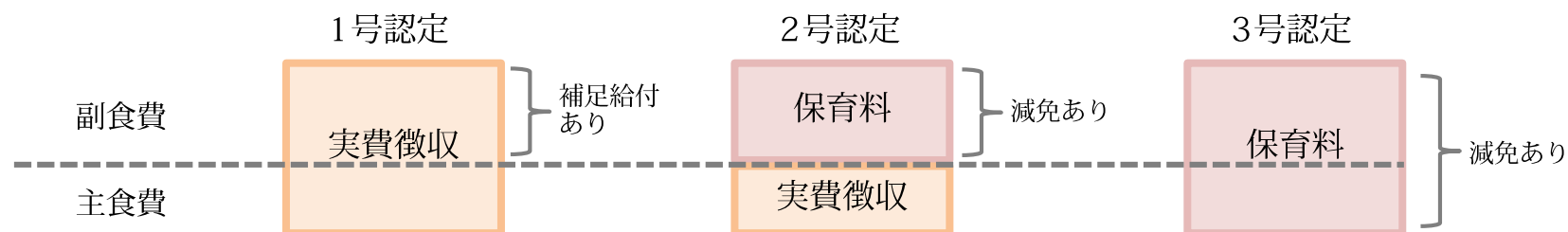


（2）低所得者等の負担減免（地方単独事業による軽減を除く。）

- ①保育料 生活保護世帯等を減免、世帯所得に応じた金額設定（子ども・子育て支援法施行令）。
- ②実費徴収 生活保護世帯等に市町村が助成（子ども・子育て支援法に基づく補足給付事業）。

(3) 支給認定区分による食材料費の負担方法の違い

給食費のうち食材料費は、生活保護世帯等を除き、保護者の自己負担が原則。新制度の認可施設・事業所では、1号～3号認定の支給認定区分により負担方法が異なっている。



- ※1 2・3号認定については、昭和24年の保育所給食制度の開始当初から、措置費に給食費を追加し、その措置費を負担能力のある者から徴収していた。
- ※2 1～3号認定のいずれについても、人件費は公費負担。
- ※3 食材料費に係る保育料内訳は主食費3,000円、副食費4,500円。

(参考) 関係条文

● 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準（平成二十六年内閣府令第三十九号）

（利用者負担額等の受領）

第十三条

4 特定教育・保育施設は、前三項の支払を受ける額のほか、特定教育・保育において提供される便宜に要する費用のうち、次の各号に掲げる費用の額の支払を支給認定保護者から受けることができる。

- 一 日用品、文房具その他の特定教育・保育に必要な物品の購入に要する費用
- 二 特定教育・保育等に係る行事への参加に要する費用
- 三 食事の提供に要する費用（法第十九条第一項第三号に掲げる小学校就学前子どもに対する食事の提供に要する費用を除き、同項第二号に掲げる小学校就学前子どもについては主食の提供に係る費用に限る。）
- 四 特定教育・保育施設に通う際に提供される便宜に要する費用
- 五 前四号に掲げるもののほか、特定教育・保育において提供される便宜に要する費用のうち、特定教育・保育施設の利用において通常必要とされるものに係る費用であって、支給認定保護者に負担させることが適当と認められるもの